Canon

レーザビームプリンタ

Satera

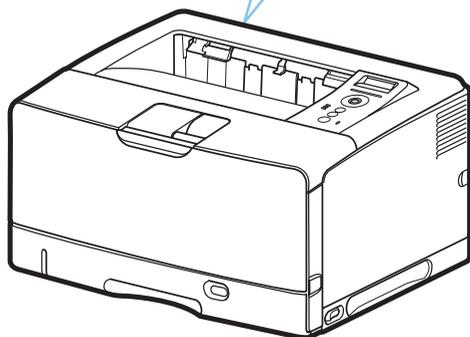
LBP3950/3900

かんたん操作ガイド

かんたん操作ガイドについて

本書は簡単なプリンタの使いかたやトラブルの解決方法について紹介しています。
いつでもお読みになれるようにプリンタの近くに置いてご活用ください。

おことわり

本書にはプリンタを取り扱うための注意事項や制限事項は記載されていませんので、必ずCD-ROMに収められている取扱説明書もあわせてお読みください。

本書は、本文に100%の再生紙を使用しています。
本書は、揮発性有機化合物(VOC)ゼロのインキを使用しています。
リサイクルに配慮して製本されていますので、不要となった際は、回収リサイクルに出しましょう。

 裏表紙に目的別索引を掲載しています。あわせてご覧ください。

取扱説明書 CD-ROM について

必要なシステム構成

	Windows	Macintosh
OS	Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版 Microsoft Windows NT Server/Workstation4.0 日本語版 * Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版 Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版 Microsoft Windows Server 2003 日本語版	Mac OS 8.0/8.1/8.5/8.5.1/8.6/9.0/9.04/9.1/9.2.1 日本語版 Mac OS X 10.1/10.1.1/10.1.2/10.1.3/10.1.4/10.1.5/10.2/10.2.1/10.2.2/10.2.3/10.2.4/10.2.5/10.2.6/10.2.7/10.2.8/10.3/10.3.1/10.3.2/10.3.3/10.3.4/10.3.5/10.3.6/10.3.7 日本語版
メモリ	上記 OS が動作するために必要なメモリ	
コンピュータ	上記 OS が動作するコンピュータ	68040 以上のプロセッサを搭載した Macintosh シリーズ Power Macintosh シリーズ（G3 以上推奨）
ディスプレイ	解像度 1024 × 768 ピクセル以上（推奨）	

* Windows NT4.0 をお使いの場合は、Service Pack3 以降をインストールしてください。

CD-ROM に収められている取扱説明書の概要

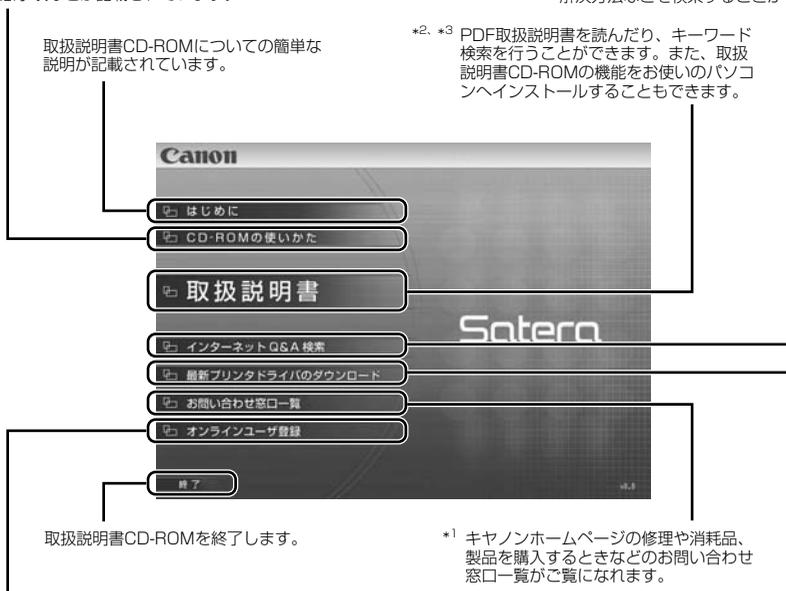
取扱説明書名（PDF ファイル名）	概要
設置ガイド（STG.pdf）	プリンタの設置、パソコンとの接続、オプション品の取り付けなど、プリンタのハード的なセットアップについて記載されています。
ユーザーズガイド（USG.pdf）	プリンタの各部名称、基本的な使用方法、消耗品の交換方法、トラブルシュート、おもな仕様など、プリンタをお使いになるときにお読みいただきたい事項が記載されています。
LIPS ソフトウェアガイド（LSG.pdf）	各種 OS のプリンタドライバのインストール、印刷方法、ユーティリティソフトウェアの説明など、コンピュータ上で行う設定や操作について記載されています。
ネットワークガイド（NWG_1.pdf）	各種ネットワークの設定方法やネットワーク使用時のトラブルシュートなど、プリンタをネットワーク環境で使用するための設定方法について記載されています。
LIPS 機能ガイド（LKG.pdf）	プリンタの操作パネルの操作方法や操作パネルで行える設定項目の概要説明など、プリンタの操作パネルで行える設定について記載されています。
リモート UI ガイド（RUG_1.pdf）	Web ブラウザを使ってプリンタの設定をする方法について記載されています。

※ PDF 取扱説明書をご覧になるには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

※ PDF 取扱説明書は PDF フォルダ内にある以下のフォルダに収められています。
・「common1」フォルダ：ネットワークガイド、リモート UI ガイド
・「LBP3950_3900」フォルダ：設置ガイド、ユーザーズガイド、LIPS ソフトウェアガイド、LIPS 機能ガイド

CD-ROM メニューについて

本製品に付属の取扱説明書 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットすると、下のメニュー画面が表示されます。（ここでは、Windows の画面を例にしています。）

* Macintosh をお使いの場合、「Satera」アイコンをダブルクリックして、お使いのOS が Mac OS X の場合は「OSX_START」アイコンを、お使いのOS が Mac OS 8/9 の場合は「OS8_9_START」アイコンをダブルクリックするとメニュー画面が表示されます。お使いのOS と異なるアイコンをダブルクリックすると正常に動作しない場合があります。

*1 インターネットをご利用できる環境のみアクセスすることができます。

*2 PDF 取扱説明書または CD-ROM の使いかたをご覧になるには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

*3 キーワード検索（キーワードを使ってプリンタについて知りたいことを PDF 取扱説明書の中から検索し、該当ページを表示させる機能）は、Windows のみの機能です。ただし、Adobe Reader 6 では、該当ページを正しく表示することができません。該当ページを正しく表示するには、Adobe Reader 6 以前の Adobe Acrobat Reader をご使用ください。

規制について

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、AppleTalk、Mac OS、Macintosh、Power Macintosh、TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

HP、HP-GL は、米国 Hewlett-Packard Company の米国の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

ESC/P は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

●著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

●通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

●公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

・公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
・私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
・役所または公務員の印影、署名または記号
・私人の印影または署名

関係法律		
	• 刑法	• 郵便法
	• 著作権法	• 郵便切手類模造等取締法
	• 通貨及証券模造取締法	• 印紙犯罪処罰法
	• 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	• 印紙等模造取締法

プリンタの操作

Chapter

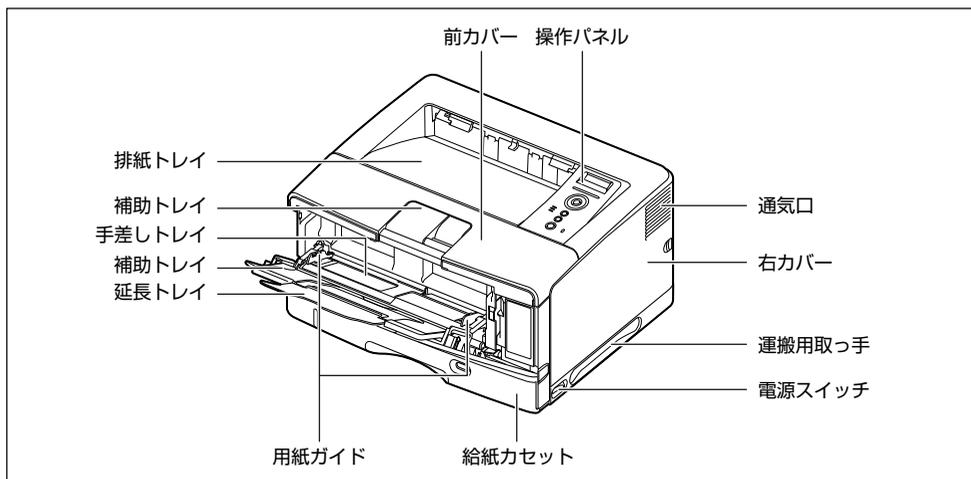
1

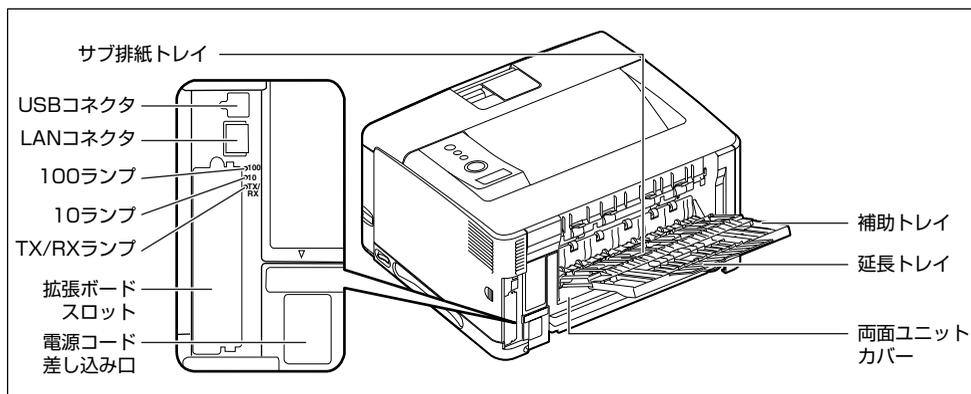
各部の名称

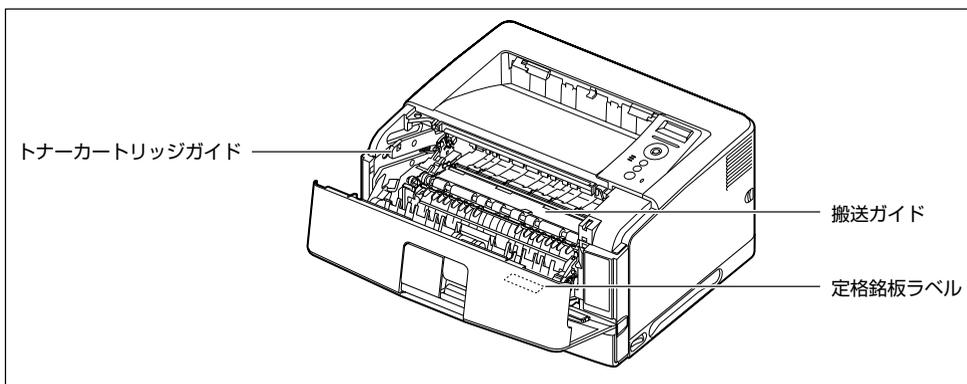
本体

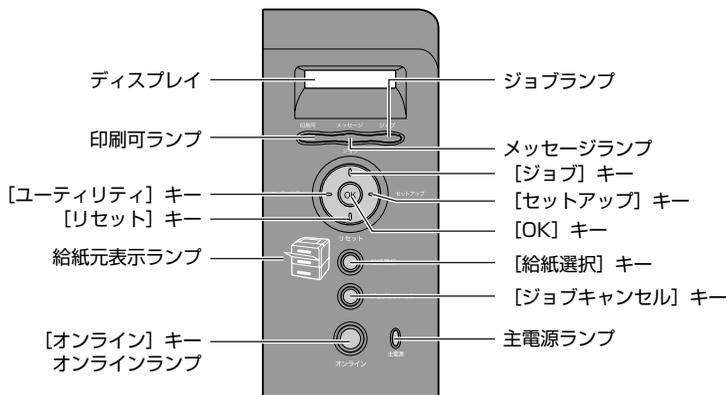
プリンタ本体の各部の名称を説明しています。

前面

前面の各部の名称を説明しています。

背面

背面の各部の名称を説明しています。

プリンタ内部

プリンタ内部の各部の名称を説明しています。

操作パネル

本プリンタの上部には下図のような操作パネルがあり、この操作パネルで本プリンタの状態を知ったり、本プリンタの持つ各種の機能を使うことができます。

ディスプレイ

本プリンタの操作パネルには下図のようなディスプレイがあり、プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。

印刷可能な状態

プリンタの状態、動作欄　給紙元の用紙サイズ欄

操作パネルでメニュー操作中の状態

カクチョウ キノウ →

操作パネルのキーの機能

操作パネルのキーはプリンタの設定や印刷ジョブの操作、 トラブルの対処などに使われます。
操作パネルのキーは以下の機能と役割を持っています。

<table>
<tr><th>キー</th><th colspan="3">機能</th></tr>
<tr><td>（オンライン）</td><td colspan="3">オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。キーが点灯しているときがオンライン状態、消灯しているときがオフライン状態です。
本文中では［オンライン］と表記します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">（ジョブキャンセル）</td><th>オンライン状態</th><th>オフライン状態</th><th>メニューの表示中</th></tr>
<tr><td colspan="2">ジョブランプが点灯・点滅している状態（データ処理中・データ受信中）で押すと、現在処理中のジョブをキャンセルします。本文中では［ジョブキャンセル］と表記します。</td><td>動作しません。</td></tr>
<tr><td>（給紙選択）</td><td colspan="2">給紙選択メニューを表示します。本文中では［給紙選択］と表記します。</td><td>動作しません。</td></tr>
<tr><td>（ユーティリティ）</td><td>ユーティリティメニューを表示します。本文中では［ユーティリティ］と表記します。</td><td>動作しません。</td><td>同じ階層の左側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が減ります。そのまま押し続けると、数値の減る速度が速くなる項目もあります。本文中では［◀］と表記します。</td></tr>
<tr><td>（ジョブ）</td><td>ジョブメニューを表示します。本文中では［ジョブ］と表記します。</td><td>動作しません。</td><td>上の階層の項目を表示します。本文中では［▲］と表記します。</td></tr>
<tr><td>（リセット）</td><td colspan="2">リセットメニューを表示します。本文中では［リセット］と表記します。</td><td>選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［▼］と表記します。［OK］と同じ動作をします。</td></tr>
<tr><td>（セットアップ）</td><td colspan="2">セットアップメニューを表示します。本文中では［セットアップ］と表記します。ただし、オンライン状態では一部の設定はできません。</td><td>同じ階層の右側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が増えます。そのまま押し続けると、数値の増す速度が速くなる項目もあります。本文中では［▶］と表記します。</td></tr>
<tr><td>（OK）</td><td colspan="2">動作しません。</td><td>選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［OK］と表記します。［▼］と同じ動作をします。</td></tr>
</table>

印刷の中止方法

印刷を中止するには、パソコン側で中止の操作を行います。

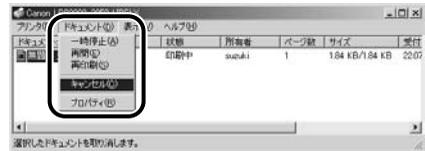
ここでは Windows を例にしています。Macintosh の場合については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

1 パソコンで印刷中止の操作を行います。

Windows 98/Me/2000 の場合は、[スタート] メニューから［設定］－［プリンタ］を選択し、印刷中のプリンタのアイコンをダブルクリックします。

Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、[スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択し、印刷中のプリンタのアイコンをダブルクリックします。

Windows XP Home Edition の場合は、[スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、印刷中のプリンタのアイコンをダブルクリックします。

中止するジョブを選択して、「ドキュメント」メニューから「キャンセル」（Windows 98/Me の場合は「印刷中止」）を選択します。

● プリンタにデータが残ってしまい、ジョブが正しく終了しない（ジョブランプが点灯している）ときは次の手順で「ソフトリセット」または「ハードリセット」の操作を行います。

2 ソフトリセットやハードリセットは以下の操作で行います。

●ソフトリセット・ハードリセットについて

○ソフトリセット

現在実行中の処理を中止したいときに、「ソフトリセット」を実行します。すべてのインタフェースに受信された印刷データや処理中のジョブ、プリンタメモリ内の印刷データを消去します。
ソフトリセットを行うと、そのとき印刷中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度パソコンから印刷しなおしてください。また、ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないようにこの操作を行ってください。

○ハードリセット

何らかの理由で、すべての処理やすでにメモリに受信されたデータを消去したいときに、「ハードリセット」を実行します。すべてのインタフェースに受信された印刷データや処理中のジョブ、プリンタメモリ内の印刷データを消去します。
データの受信中にリセットした場合、まだメモリに受信していないデータはリセット処理後に受信されます。ただし、正しく印刷されないことがあります。また、ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないようにこの操作を行ってください。

メンテナンス

Chapter

用紙について

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと印字品質の低下や紙づまりの原因になります。

使用できる用紙

本プリンタでは次の用紙を使用できます。表中の◎は片面印刷とオプションの両面ユニットを使った自動両面印刷が可能、○は片面印刷のみ可能、 ×は不可です。

用紙の種類	給紙元		
	手差しトレイ	カセット 1	カセット 2（オプション）
普通紙（60 ～90g/m²） A5*1	◎	◎	◎
B5*1	◎	◎	◎
A4	◎	◎	◎
B4*2	◎	◎	◎
A3*2	◎	◎	◎
レター	◎	◎	◎
エグゼクティブ *1	◎	◎	◎
リーガル *2	◎	◎	◎
レジャー（11 × 17） *2	◎	◎	◎
ユーザ設定サイズ	◎ *3	◎ *4	◎ *5
はがき *2 100.0mm × 148.0mm	○	×	×
往復はがき *1 148.0mm × 200.0mm	○	×	×
4 面はがき *1 200.0mm × 296.0mm	○	×	×
厚紙（91 ～199g/m²） A5 ～レジャー（11 × 17）	○	×	×
ユーザ設定サイズ	○ *3	×	×
はがき *2 100.0mm × 148.0mm	○	×	×
往復はがき *1 148.0mm × 200.0mm	○	×	×
4 面はがき *1 200.0mm × 296.0mm	○	×	×
OHP フィルム A4	○	×	×
ラベル用紙　A4	○	×	×
はがき *2 100.0mm × 148.0mm	○	×	×
往復はがき *1 148.0mm × 200.0mm	○	×	×
4 面はがき *1 200.0mm × 296.0mm	○	×	×
封筒 *2 洋形 4 号 105.0mm × 235.0mm	○	×	×
洋形 2 号 114.0mm × 162.0mm	○	×	×
角形 2 号 240.0mm × 332.0mm	○	×	×

*1 横置きのみセット可能です。
*2 縦置きのみセット可能です。
*3 以下のサイズのユーザ設定用紙をセットすることができます。
・縦置きの場合：幅98.0 ～ 312.0mm、長さ148.0 ～470.0mm
・横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 148.0～312.0mm、長さ 148.0～ 312.0mm
以下のサイズのユーザ設定用紙（普通紙）を自動両面印刷することができます。
・縦置きの場合：幅210.0 ～297.0mm、長さ210.0～ 431.8mm
・横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 210.0～297.0mm、長さ 148.0～ 297.0mm
*4 以下のサイズのユーザ設定用紙をセットすることができます。
・縦置きの場合：幅210.0 ～297.0mm、長さ210.0～ 431.8mm*
＊幅が 279.5～297.0mm の場合、長さは 210.0～ 420.0mm になります。
・横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 210.0～297.0mm、長さ 148.0～ 297.0mm
*5 以下のサイズのユーザ設定用紙をセットすることができます。
・縦置きの場合：幅210.0 ～297.0mm、長さ210.0～ 431.8mm
・横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 210.0～297.0mm、長さ 148.0～ 297.0mm

● 紙の厚さについて
紙の厚さは、1m^2* あたりの重さがどれくらいかということで表され、一般的に g/m^2 という単位が使われます。
*1m^2 ＝A4 サイズ16 枚分

Check!

幅がA4 サイズ（297.0mm）以下の用紙を連続印刷した場合、熱による故障などを防止する安全機能が働き、印刷速度が段階的に遅くなることがあります。（最終的に約 1.9ppm まで遅くなることがあります。）

使用できない用紙

紙づまりやプリンタ本体の故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

●紙づまりを起こしやすい用紙

・厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
・不規則な形の用紙
・湿っている用紙、濡れている用紙
・破れている用紙
・表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
・バインダ用の穴やミシン目のある用紙
・カールした用紙や折り目のある用紙
・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
・裏紙が簡単にはがれてしまうラベル紙
・複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）
・バリのある用紙
・しわのある用紙
・角折れのある用紙

●高温によって変質する用紙

・定着器の加熱温度（約 270 ℃）以下で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
・感熱用紙
・表面加工したカラー用紙
・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
・糊などがついた用紙

●プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙

・カーボン紙
・ステイプル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
・複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）

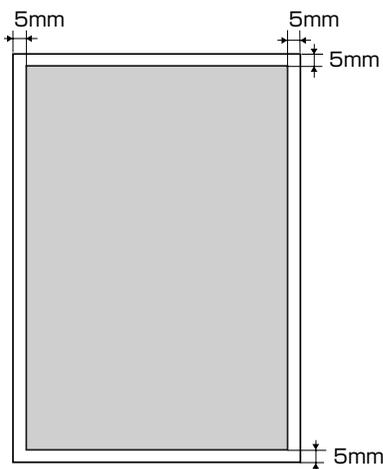
●トナーが定着しにくい用紙

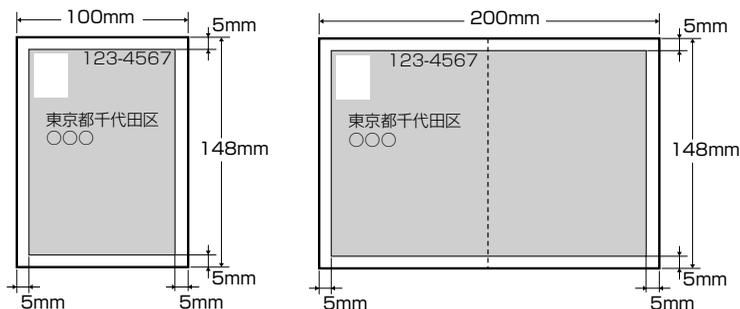
・ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
・繊維の粗い用紙

印刷できる範囲

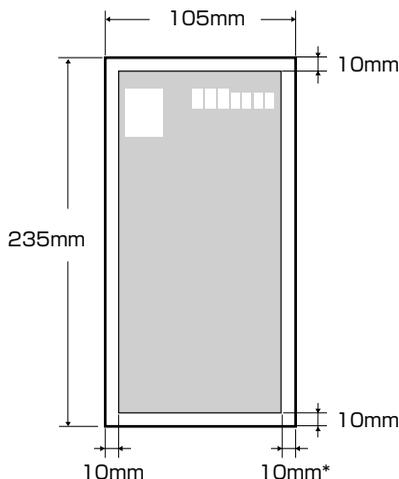
本プリンタで印刷できる領域は、次の範囲です。ただし、LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックした場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

●普通紙 / 厚紙 /OHP フィルム / ラベル紙

用紙の周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。

●はがき / 往復はがき /4 面はがき

はがきの周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。

●封筒

封筒の周囲10mm(LIPS LXプリンタドライバを使用する場合の洋形4号と洋形2号の右は7.6mm)より内側の範囲に印刷できます。
お使いのアプリケーションによっては、印刷時に位置を調整してお使いください。

(洋形4号封筒の例)

* LIPS LX プリンタドライバを使用する場合の洋形４号と洋形 2 号の右は 7.6mm

Point

はがきまたは封筒の有効印字領域いっぱいのデータを印刷した場合、最適な印字品質が得られない場合があります。データをはがきまたは封筒の有効印字領域より少し小さ目に設定することをおすすめします。

給紙カセットに用紙をセットして印刷する

「11　XXX　ヨウシガ　アリマセン」は給紙元の用紙がなくなった場合に表示されます。

用紙がなくなると表示されます。

用紙のなくなった給紙元に、用紙をセットしてください。
また、セットする用紙を変更したいときも次の手順で用紙をセットしてください。

用紙をセットするときは、プリンタが次のいずれかの状態のときに行ってください。

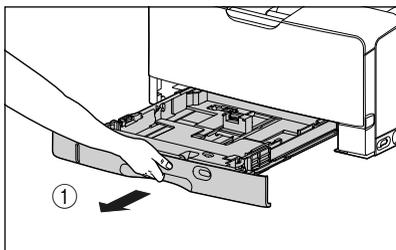
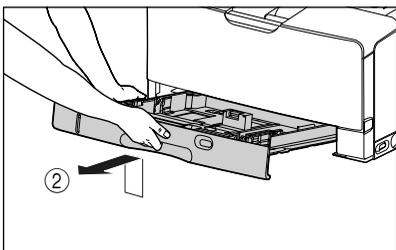
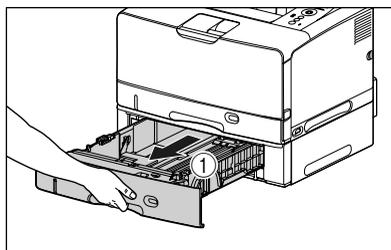
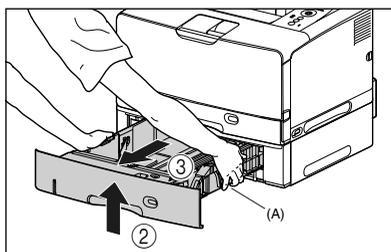
- ジョブランプが消灯しているとき
- プリンタの電源がオフのとき
- 用紙なしメッセージが表示されているとき

使用できる用紙については、「P.2-2」を参照してください。
使用できない用紙については、「P.2-3」を参照してください。

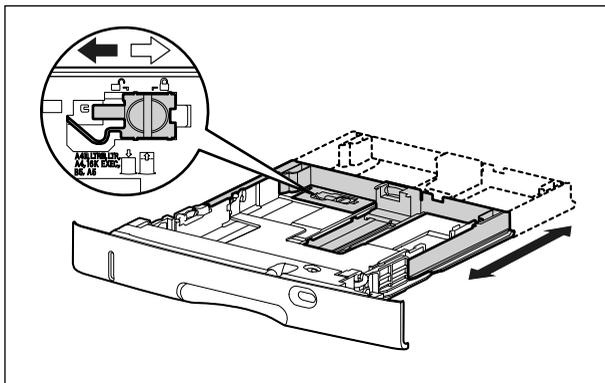
Point

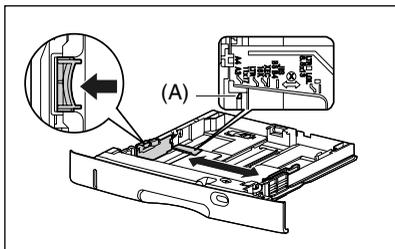
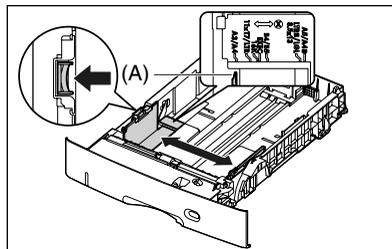
BMLinkS プリンタドライバから印刷する場合は、給紙カセットにセットされた用紙タイプと「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。プリンタドライバを使用できないOS(MS-DOS や UNIX など)から印刷する場合は、給紙カセットにセットされた用紙サイズ／用紙タイプと「デフォルト用紙サイズ」／「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。
詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

1 給紙カセットを引き出します。

カセット1
給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出します①。

手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します②。

カセット2
給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出します①。

図のように取っ手（A）を両手で持って、給紙カセットの手前を少し持ち上げてから②、完全に引き出します③。

2 セットする用紙のサイズを変更するときは、給紙カセットの長さと用紙ガイドの位置を変更します。

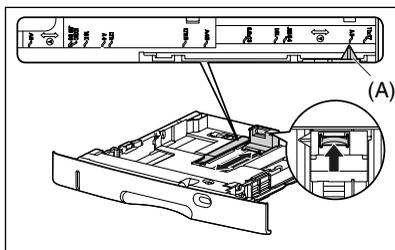
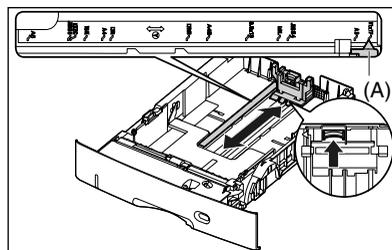
a カセット 1 に用紙をセットする場合は、セットする用紙に合わせて、給紙カセットの長さを調節します。
A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズの用紙をセットする場合は、給紙カセットを押し込みます。
A3、B4、A4R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター R サイズの用紙をセットする場合は、給紙カセットを引き出します。

給紙カセットの長さを調整するには、ロック解除レバーを「 」に合わせてロックを解除し、給紙カセットの後部を持ってスライドさせ、ロック解除レバーを「 」に合わせてロックします。

b 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。（A）の部分をセットする用紙サイズに合わせます。

カセット 1

カセット 2

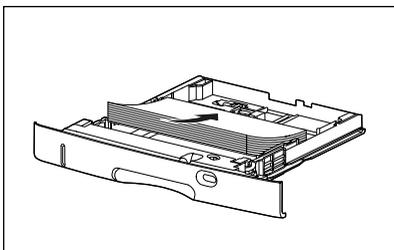
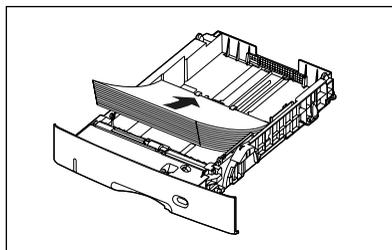
c 後端の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

（A）の部分をセットする用紙サイズに合わせます。

カセット 1

カセット 2

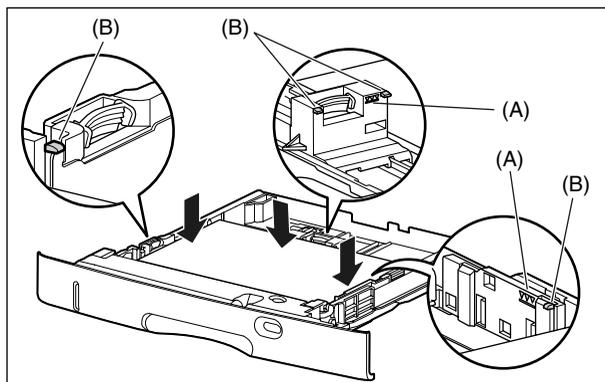
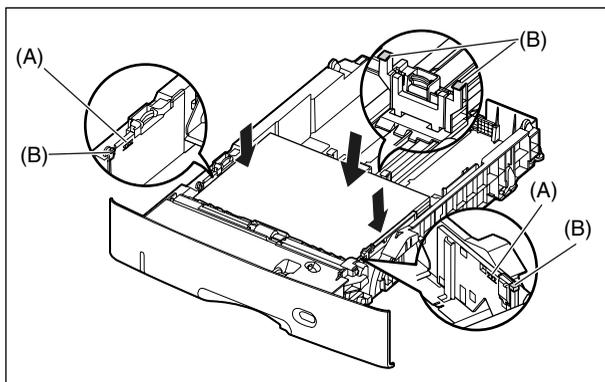
3 用紙の後端を、用紙ガイドに合わせてセットします。

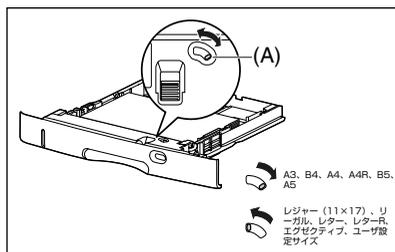
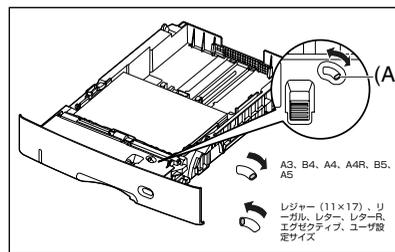
セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-27）を参照してください。

カセット 1

カセット 2

4 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マーク（A）を超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメ（B）の下に用紙を入れます。

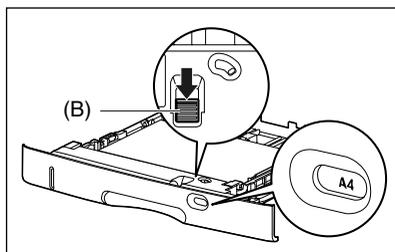
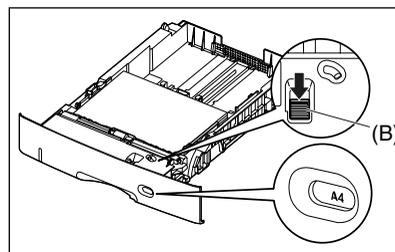
用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。

カセット 1 にセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m^2 の場合）で約 250 枚、カセット 2 にセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m^2 の場合）で約 500 枚です。

カセット 1

カセット 2

5 セットする用紙のサイズを変更したときは、用紙サイズ設定スイッチと用紙サイズ登録ダイヤルをセットした用紙サイズに合わせます。

a 用紙サイズ設定スイッチ（A）の取っ手を持って、用紙サイズ設定スイッチをセットした用紙のサイズに合わせます。

カセット１

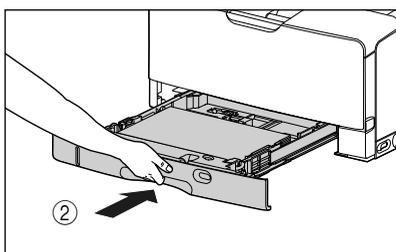
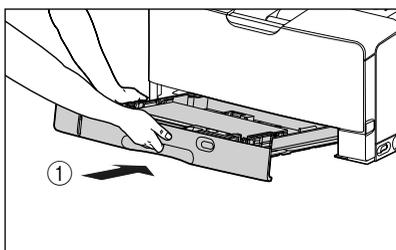
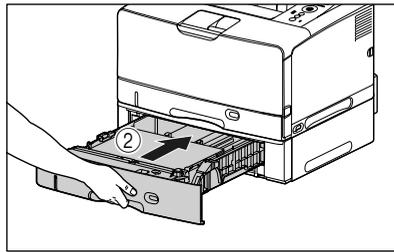
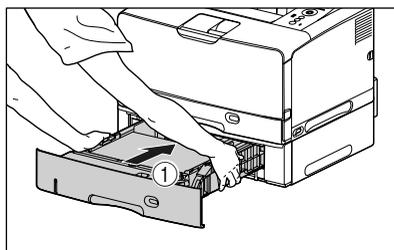
カセット２

b 用紙サイズ登録ダイヤル（B）を調節して、セットした用紙のサイズに合わせます。

カセット１

カセット２

6 給紙カセットを図のように斜めに差し込み①、ゆっくりと水平に押し込んでプリンタ本体またはペーパーフィーダにセットします②。

給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

カセット１

カセット２

7 **以降は、プリンタドライバの設定を行いますので、パソコンの前に移動します。**

> ● ここではWindows 2000/XP/Server 2003用LIPS LX プリンタドライバVersion1.57を例にします。Macintosh の場合については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。
> BMLinkS プリンタドライバをお使いの場合については、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。
> プリンタドライバを使用できない OS（MS-DOS や UNIX など）から印刷する場合は、給紙カセットにセットされた用紙サイズ／用紙タイプと「デフォルト用紙サイズ」／「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。
> 詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

8 **アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。**

9 **［ページ設定］ページをクリックし、［原稿サイズ］でアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。**

10 **［給紙］ページをクリックし、［給紙部］で使用するカセット、［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。**

［用紙タイプ］は以下のように設定します。

普通紙（60 ～90g/m^2）	［普通紙］＊

＊　［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合は［普通紙L］に設定し、定着性をより改善したいときは［普通紙H］に設定してください。

11 [OK] をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

12 [OK] をクリックして、印刷を実行します。

手差しトレイに用紙をセットして印刷する

「11　XXX　ヨウシガ　アリマセン」は給紙元の用紙がなくなった場合に表示されます。

用紙がなくなると表示されます。

11　A4ﾖｳｼｶﾞ　ｱﾘﾏｾﾝ

用紙のなくなった給紙元に、用紙をセットしてください。
また、セットする用紙を変更したいときも次の手順で用紙をセットしてください。

手差しトレイには、以下のような用紙をセットすることができます。

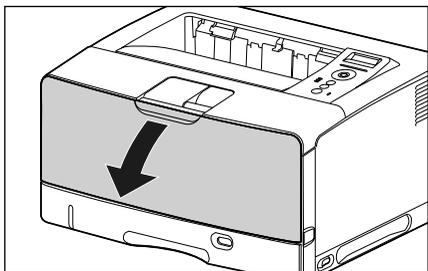
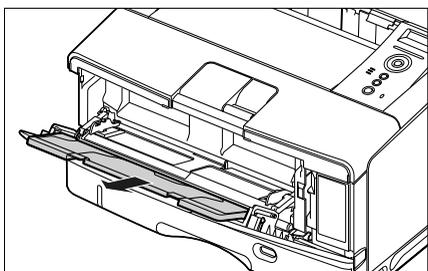
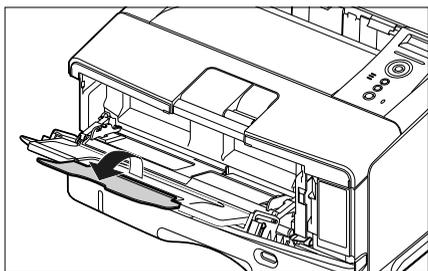
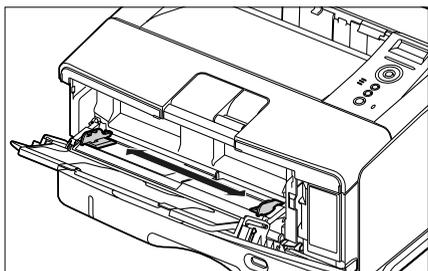
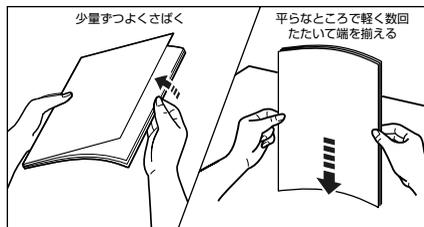
用紙のタイプ	用紙のサイズ	積載枚数
普通紙	・定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ ・はがきサイズ はがき（100.0mm × 148.0mm） 往復はがき（148.0mm × 200.0mm） ４面はがき（200.0mm × 296.0mm） ・ユーザ設定用紙 *1	約100枚 （64g/m^2 の場合）
厚紙		約50枚 （128g/m^2 の場合）
ラベル用紙	A4	約40枚
OHP フィルム	A4	約50枚
封筒	洋形４号（105.0mm × 235.0mm） 洋形２号（114.0mm × 162.0mm） 角形２号 *2（240.0mm × 332.0mm）	約10枚
はがき	はがき（100.0mm × 148.0mm） 往復はがき（148.0mm × 200.0mm） ４面はがき（200.0mm × 296.0mm） キヤノン推奨４面はがき（200.0mm × 296.0mm）	約40枚

*1 ユーザ設定用紙については、「ユーザ設定用紙に印刷する」（→P.2-16）を参照してください

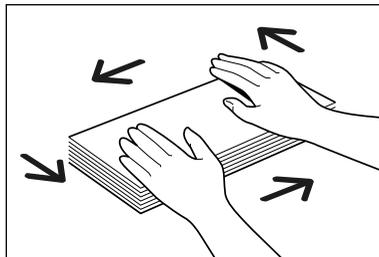
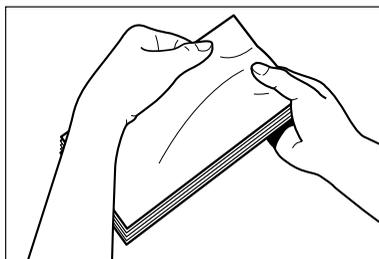
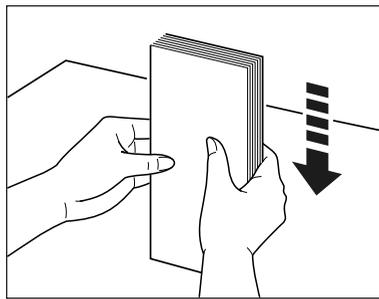
*2 キヤノン LBP 専用封筒 K201-G/ 推奨品

● 紙の厚さについて
紙の厚さは、1m^2* あたりの重さがどれくらいかということで表され、一般的に g/m^2 という単位が使われます。
*1m^2 ＝A4 サイズ16 枚分

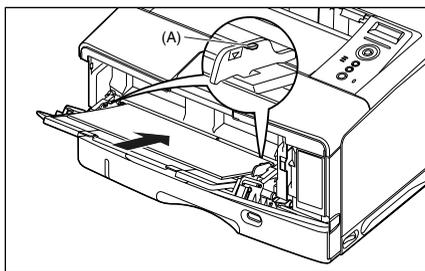
1 手差しトレイを開けます。

手差しトレイは中央の青色の取っ手を持って開けます。

2 補助トレイを引き出します。

A3 や B4 などの長いサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを開けます。

3 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

4 OHP フィルムやラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

Point

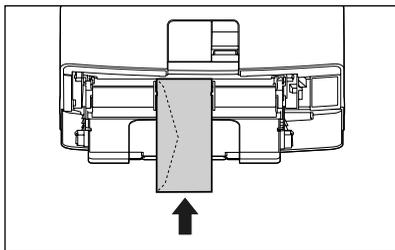
封筒は次の手順で揃えます。

a 封筒の束を平らな場所へ置き、上面を押して空気を抜いてから、縁の折り目をきちんと付けて、平らにします。

b 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。

c 封筒を平らな場所で揃えます。

5 用紙の印刷面を上にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

用紙束は積載制限ガイド（A）の下を通してください。

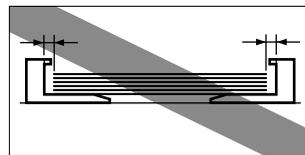
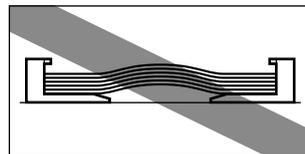
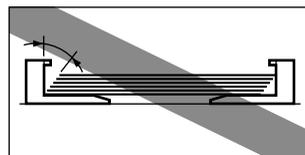
セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→P.2-27）を参照してください。

Point

封筒、はがきの場合は以下のようにセットします。

・封筒　洋形４号／洋形２号
ふたがプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。

・はがき／往復はがき
はがきの上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。

・封筒　角形２号
底辺がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。

・４面はがき
はがきの上端がプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。

6 用紙ガイドを、用紙の左右にぴったりと合わせます。

7 セットした用紙サイズの設定を操作パネルで行います。

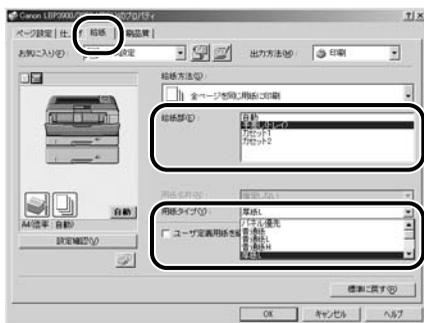
セットした用紙のサイズを設定します。手差しトレイから印刷するときは、ここで設定した内容と、プリンタドライバの設定を一致させてください。

8 以降は、プリンタドライバの設定を行いますので、パソコンの前に移動します。

- ここではWindows 2000/XP/Server 2003用LIPS LXプリンタドライバVersion1.57を例にします。Macintoshの場合については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。
BMLinkSプリンタドライバをお使いの場合については、BMLinkSプリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。
DOSやUNIXなど、プリンタドライバが使用できないOSから印刷する方法についてはユーザーズガイド第3章「手差しトレイから印刷する」を参照してください。

9 アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

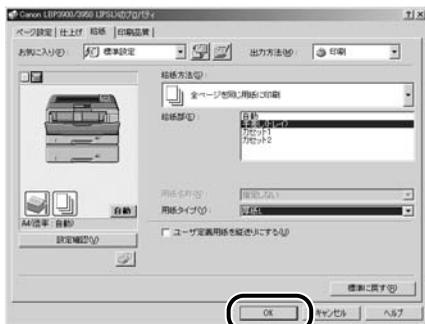
10 ［ページ設定］ページをクリックし、［原稿サイズ］でアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

11 ［給紙］ページをクリックし、［給紙部］で［手差し（トレイ)］、［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

［用紙タイプ］は以下のように設定します。

普通紙（60～90g/m^2)	［普通紙］＊1
厚紙（91～199g/m^2)	［厚紙L］＊2
OHPフィルム	［OHPフィルム］
ラベル用紙	［ラベル用紙］
封筒	［封筒］
はがき	［はがき］

*1 ［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合は［普通紙 L］に設定し、定着性をより改善したいときは［普通紙 H］に設定してください。

*2 ［厚紙 L］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、［厚紙 H］に設定してください。

12 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

13 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

ユーザ設定用紙に印刷する

本プリンタには以下のユーザ設定用紙をセットすることができます。

• 給紙カセット
 ·縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm*
 * 幅が 279.5 ～ 297.0mm の用紙をカセット 1 にセットする場合、長さは 210.0 ～ 420.0mm になります。
 ·横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

• 手差しトレイ
 ·縦置きの場合：幅 98.0 ～ 312.0mm、長さ 148.0 ～ 470.0mm
 ·横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 148.0 ～ 312.0mm、長さ 148.0 ～ 312.0mm

ユーザ設定用紙を印刷する場合は、以下の手順で行います。

1. ユーザ設定用紙の登録する（→ P.2-17）
2. ユーザ設定用紙をセットする
 · 給紙カセットにセットする場合（→ P.2-18）
 · 手差しトレイにセットする場合（→ P.2-22）
3. プリンタドライバを設定して、ユーザ設定用紙を印刷する（→ P.2-25）

ユーザ設定用紙の登録方法

ユーザ設定用紙を印刷する場合は、以下の手順でユーザ設定用紙をプリンタドライバに登録する必要があります。

ユーザ設定用紙の登録は、以下のダイアログボックスを表示して行います。

- Windows 2000/XP/Server 2003 の場合
  ［プリンタ］フォルダ（Windows XP/Server 2003 は［プリンタと FAX］フォルダ）から［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示して設定します。
- Windows 98/Me の場合
  ［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示して設定します。

1 ［ページ設定］ページを表示し、［ユーザ定義用紙］をクリックします。

2 必要に応じて各項目を設定します。

［用紙一覧］： 定形用紙と登録済みのユーザ設定用紙の名称とサイズが表示されます。

［ユーザ定義用紙名］： 登録するユーザ設定用紙の名称を入力します。Windows 98/Me の場合は、半角31 文字／全角15 文字まで、Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、半角／全角 31 文字まで入力できます。

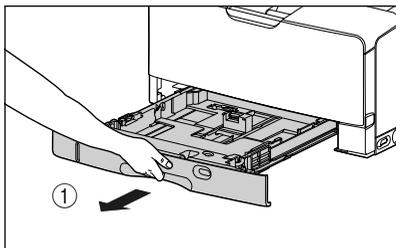
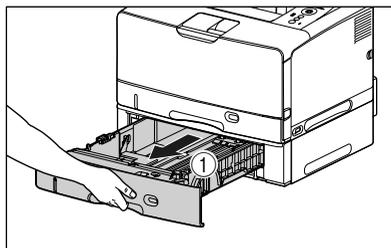
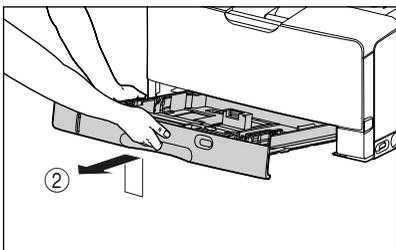
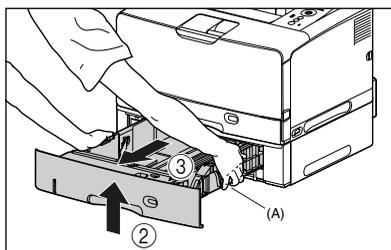
［単位］： ユーザ設定用紙のサイズを設定するときに使用する単位（ミリメートルまたはインチ）を選択します。

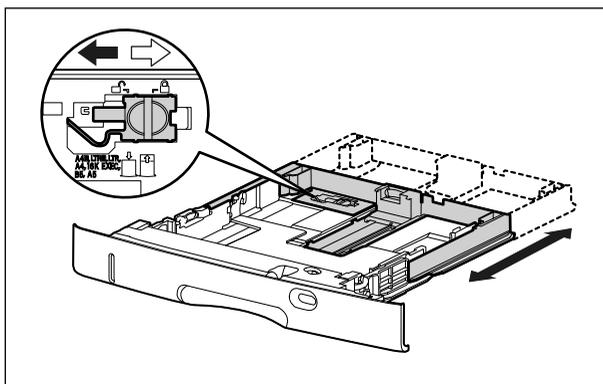
［用紙サイズ］： ユーザ設定用紙の高さと幅（高さ≧幅）を設定します。用紙サイズは、縦長（高さ≧幅）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。

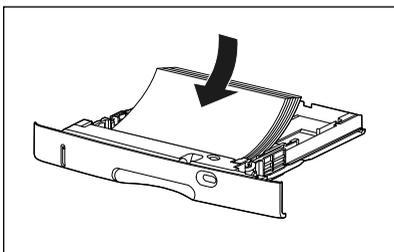
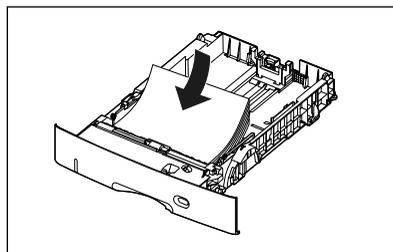
3 ［登録］をクリックして、［OK］をクリックします。

給紙カセットにユーザ設定用紙をセットする

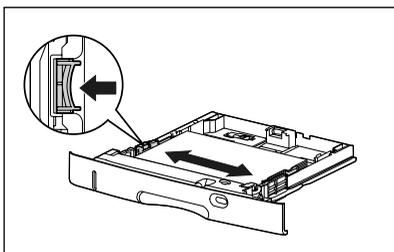
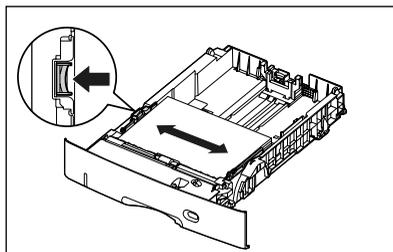
1 給紙カセットを引き出します。

カセット1
給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出します①。

カセット2
給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出します①。

手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します②。

図のように取っ手（A）を両手で持って、給紙カセットの手前を少し持ち上げてから②、完全に引き出します③。

2 カセット 1 に用紙をセットする場合で、長さが A4 サイズ（297.0mm）よりも大きいサイズの用紙をセットするときは、給紙カセットの長さを調節します。

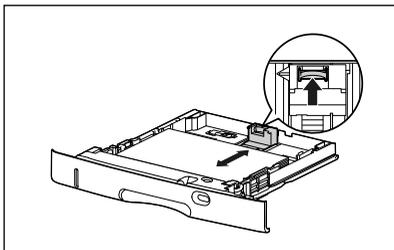
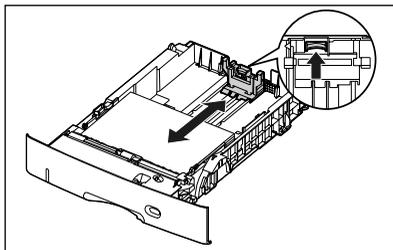
給紙カセットの長さを調整するには、ロック解除レバーを 🔓 に合わせてロックを解除し、給紙カセットの後部を持ってスライドさせ、ロック解除レバーを 🔒 に合わせてロックします。

3 用紙を給紙カセットの手前側に合わせてセットします。

カセット 1

カセット 2

Point

LIPS LX プリンタドライバから印刷する場合は、縦置き、横置きにセットすることが可能ですが、長辺が 297.0mm 以下の定形外の用紙を印刷する場合は、横置きにセットしてください。LIPS LX プリンタドライバから印刷しない場合は、縦置きにセットしてください。

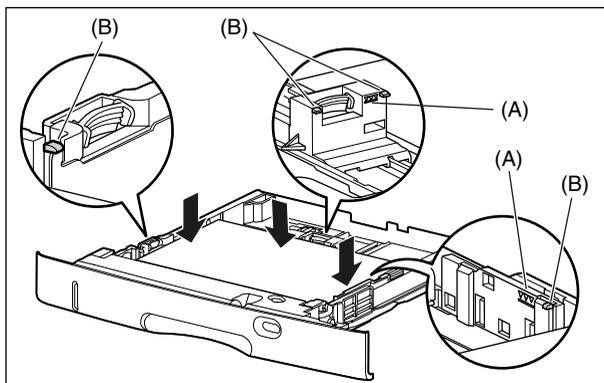
4 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットした用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

カセット 1

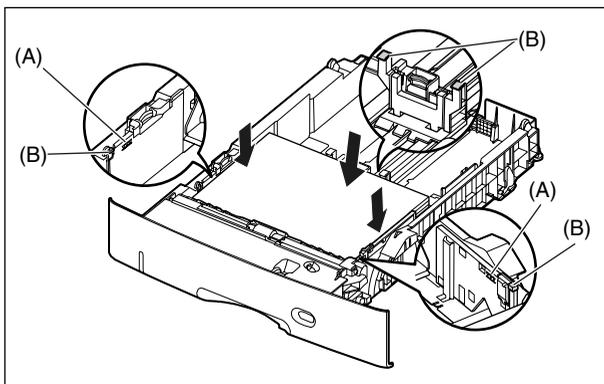
カセット 2

5 後端の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットした用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

カセット 1

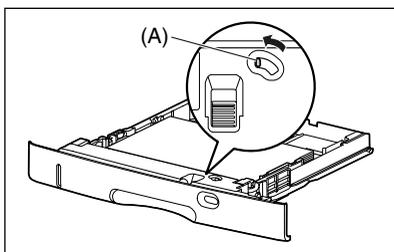
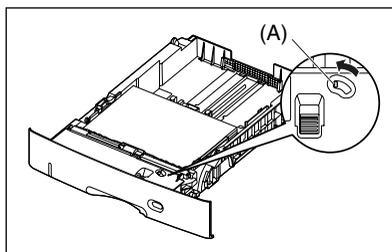
カセット 2

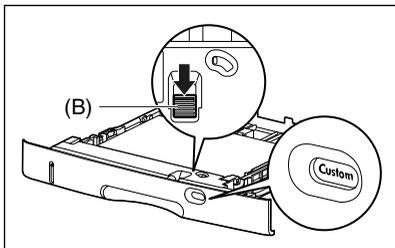
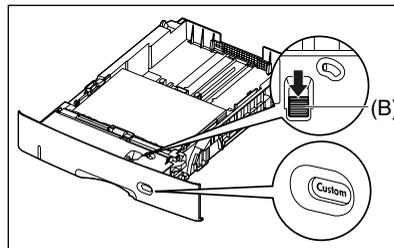
6 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マーク（A）を超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメ（B）の下に用紙を入れます。

用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。

カセット 1

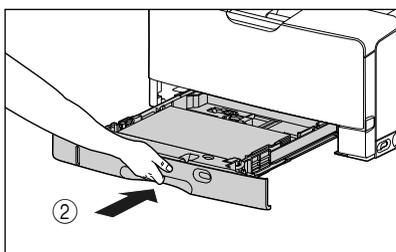
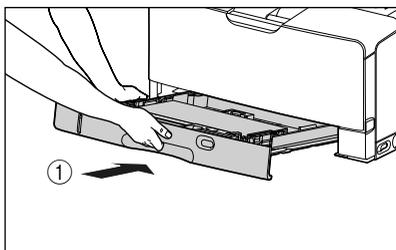
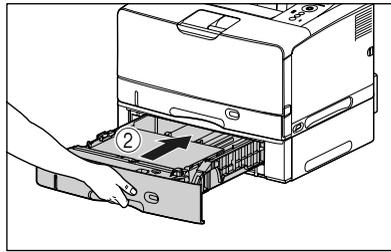
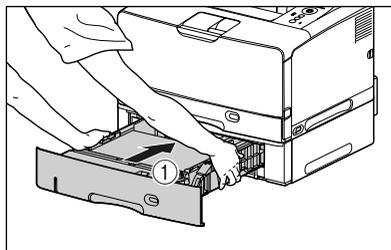
カセット 2

7 用紙サイズ設定スイッチと用紙サイズ登録ダイヤルを左側に合わせます。

a 用紙サイズ設定スイッチ（A）の取っ手を持って、用紙サイズ設定スイッチを左側に合わせます。

カセット 1

カセット 2

b 用紙サイズ登録ダイヤル（B）を調節して、「Custom」に合わせます。

カセット１

カセット２

8 給紙カセットを図のように斜めに差し込み①、ゆっくりと水平に押し込んでプリンタ本体またはペーパーフィーダにセットします②。

給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

カセット１

カセット２

9 セットした用紙の置きかたの設定を操作パネルで行います。

で「カセットN　ヨウシ　サイズ」(N=1、2）を選択します。

カセット2 ヨウシ サイズ゛ →

を押します。

=ユーザ゛セッテイサイズ゛ →

で給紙カセットにセットした用紙サイズを選択します。

横置きにセットした場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）は、「ユーザセッテイサイズ」、縦置きにセットした場合は「ユーザセッテイサイズR」を選択します。

ユーザ゛セッテイサイズ゛R →

を押します。

用紙サイズの左に「=」が表示され、給紙カセットの用紙サイズが設定されます。

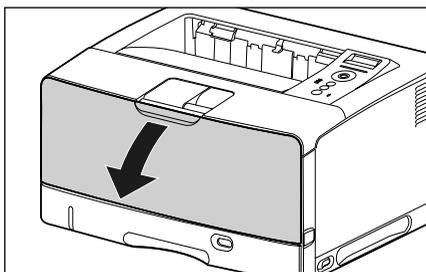
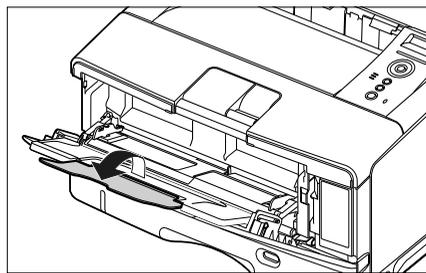
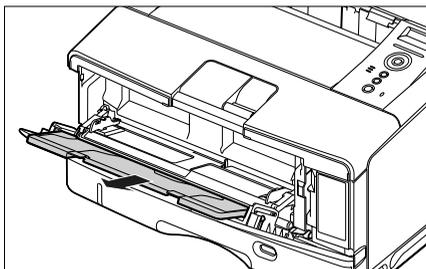
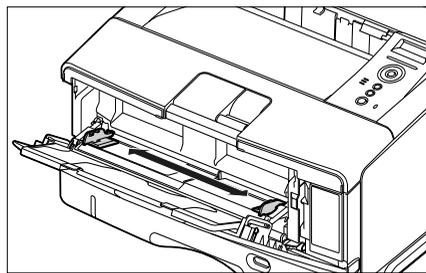
=ユーザ゛セッテイサイズ゛R →

引き続きプリンタドライバの設定を行います（→P.2-25)。

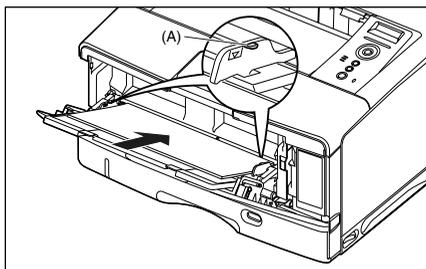
手差しトレイにユーザ設定用紙をセットする

手差しトレイにユーザ設定用紙をセットするときは、次の手順でセットします。

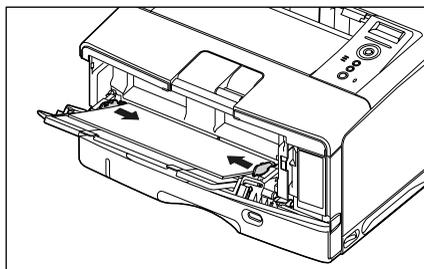
1 手差しトレイを開けます。

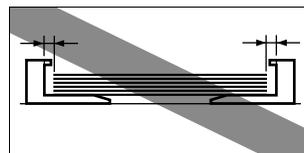
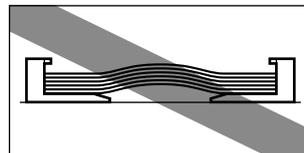
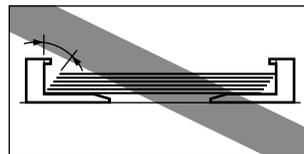
手差しトレイは中央の青色の取っ手を持って開けます。

長いサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを開けます。

2 補助トレイを引き出します。

3 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

4 用紙の印刷面を上向きにして、図のように手差しトレイの奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

用紙束は積載制限ガイド（A）の下を通してください。

セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→P.2-27）を参照してください。

Point

LIPS LX プリンタドライバから印刷する場合は、縦置き、横置きにセットすることが可能ですが、長辺が 312.0mm 以下の定形外の用紙を印刷する場合は、横置きにセットしてください。LIPS LX プリンタドライバから印刷しない場合は、縦置きにセットしてください。

5 用紙ガイドを、用紙の左右にぴったりと合わせます。

Point

必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

6 セットした用紙の置きかたと用紙タイプの設定を操作パネルで行います。

セットした用紙の置きかたを設定したあと、用紙タイプを設定します。手差しトレイから印刷するときは、ここで設定した内容と、プリンタドライバの設定を一致させてください。

ユーティリティ（◀）または（▶）セットアップで「テザシトレイ　ヨウシサイズ」を選択します。

（OK）を押します。

ユーティリティ（◀）または（▶）セットアップで手差しトレイにセットした用紙サイズを選択します。

横置きにセットした場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）は、「ユーザセッテイサイズ」、縦置きにセットした場合は「ユーザセッテイサイズR」を選択します。

（OK）を押します。

用紙サイズの左に「=」が表示され、手差しトレイの用紙サイズが設定されます。

引き続きプリンタドライバの設定を行います（→ P.2-25）。

プリンタドライバの設定方法

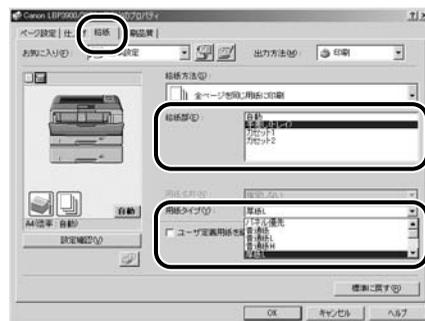
ユーザ設定用紙を印刷するときは、次の手順でプリンタドライバを設定します。

Point

ここでは Windows 2000/XP/Server 2003 用 LIPS LX プリンタドライバ Version1.57 を例にします。
Macintosh の場合については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

1 アプリケーションソフトで [印刷] を選択します。次に [プリンタ名] で本プリンタを選択し、[プロパティ] をクリックします。

2 [ページ設定] ページをクリックし、[原稿サイズ] でアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、[出力用紙サイズ] でセットしたサイズのユーザ設定用紙を選択します。

3 [給紙] ページをクリックして、[給紙部] でセットした給紙部を選択し、[用紙タイプ] でセットした用紙のタイプを選択します。

[用紙タイプ] は以下のように設定します。

普通紙（60 ～ 90g/m^2）	[普通紙] *1
厚紙（91 ～ 199g/m^2）	[厚紙 L] *2

*1 [普通紙] に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合は [普通紙 L] に設定し、定着性をより改善したいときは [普通紙 H] に設定してください。

*2 [厚紙 L] に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、[厚紙 H] に設定してください。

4 [OK] をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

5 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

用紙のセット向きについて

レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、以下のように正しい向きに用紙をセットしてください。表中の➡は給紙方向を表しています。

	A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合		A3、B4、A4R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レターRサイズのように用紙を縦置きでセットする場合	
	縦レイアウト	横レイアウト	縦レイアウト	横レイアウト
カセット1、2（片面印刷）				
カセット1、2（自動両面印刷）				
手差しトレイ（片面印刷）				
手差しトレイ（自動両面印刷）				
手差しトレイ（手動両面印刷）				

・ 封筒、はがきの用紙セットの方向については「手差しトレイに用紙をセットして印刷する」（→ P.2-11）を参照してください。

・ LIPS LX プリンタドライバから印刷する場合は、縦置き、横置きにセットすることが可能ですが、長辺が 312.0mm（給紙カセットの場合は 297.0mm）以下の定形外の用紙を印刷する場合は、横置きにセットしてください。LIPS LX プリンタドライバから印刷しない場合は、縦置きにセットしてください。

・ 手差し両面印刷をする場合は、端を伸ばしてカールをなおしてから、1 枚ずつ手差しトレイにセットしてください。

トナーカートリッジを交換する

「トナー　ヨウイ／カクニン」が表示されたときは

トナーカートリッジは消耗品です。プリンタの使用中にトナーが少なくなると、ディスプレイにメッセージが表示されます。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
16 トナー ヨウイ	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・印刷は継続できます ・新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
16 トナー カクニン	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・プリンタは停止します ・［オンライン］を押すと印刷は継続できます ・新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
9F トナー カクニン	トナーカートリッジが寿命になった可能性があるとき	・印刷は継続できます ・プリンタ本体の故障の原因となることがありますので、新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします ・新品のトナーカートリッジに交換してください
1G トナー カクニン	トナーカートリッジが寿命になったとき	・印刷は継続できます ・新品のトナーカートリッジに交換してください

* トナーが少なくなったときに「16　トナー　ヨウイ」と「16　トナー　カクニン」のどちらが表示されるかは、セットアップメニューの「警告処理」の設定によります。本プリンタの工場出荷時の状態では、「16　トナー　ヨウイ」が表示されるように設定されています。「警告処理」の設定については、LIPS 機能ガイド「第3 章共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

● トナーカートリッジの寿命について

本プリンタ用トナーカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。このページ数は、A4 サイズで、「ISO/IEC 19752」* に準拠し、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合です。トナー消費量は、印刷する書類の内容によって異なります。図・表・グラフなどのように空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、このような書類を多く印刷する場合はトナーカートリッジの寿命が短くなります。

・同梱されているトナーカートリッジの場合
　約 6,000 ページ
・交換用のトナーカートリッジの場合
　Cartridge 509：約 12,000 ページ

* ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準

トナーカートリッジの交換

次の手順で新品のトナーカートリッジに交換してください。

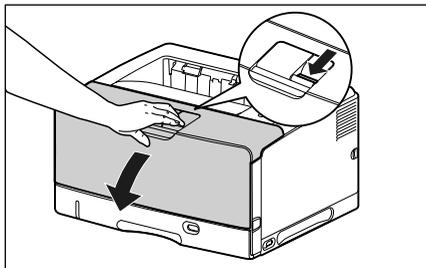
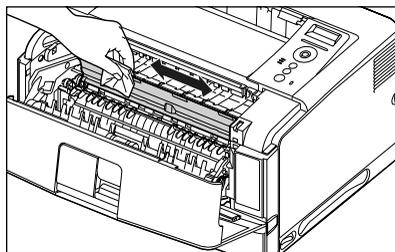
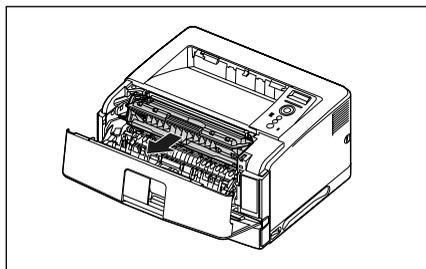
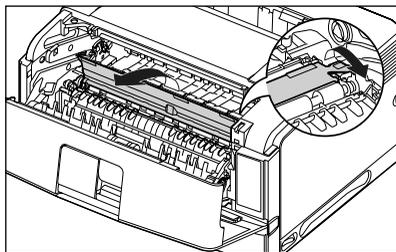
* 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

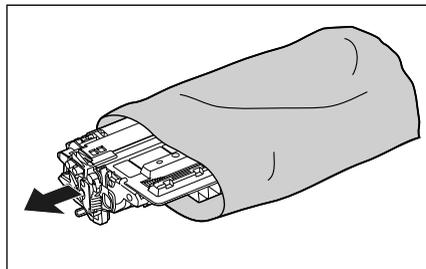
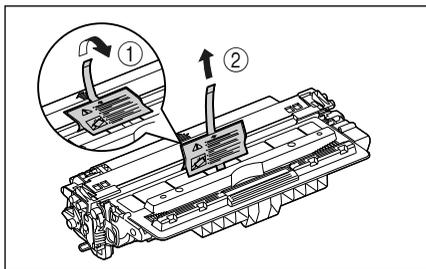
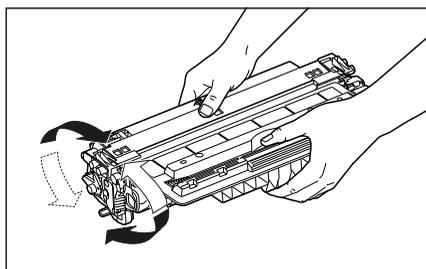
1 前カバーを開けます。

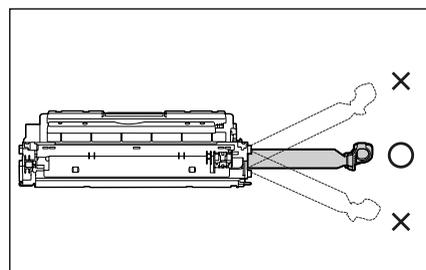
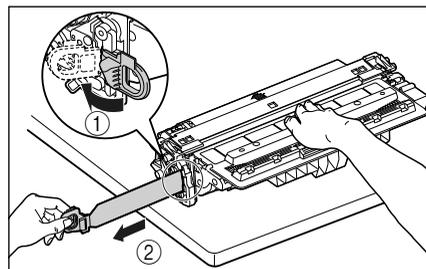
2 トナーカートリッジをプリンタから取り出します。

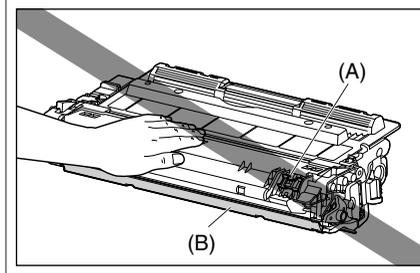
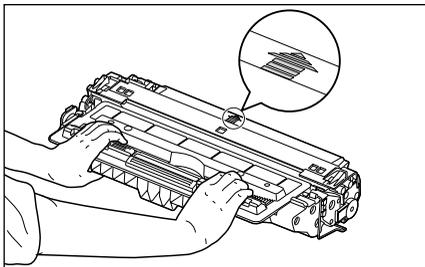
3 搬送ガイドを清掃します。

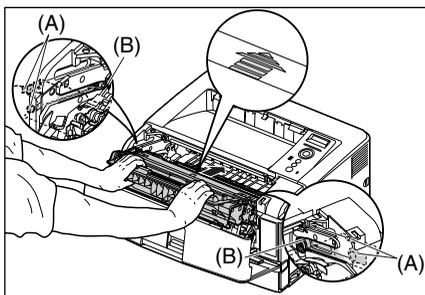
a 搬送ガイドを持ち上げます。

搬送ガイドは緑色の取っ手を持って持ち上げます。

b 水を含ませて固く絞った布で、搬送ガイドに付いている紙粉やトナーをふき取ります。ふき取ったら、乾いた柔らかい布でからぶきしてください。

c 搬送ガイドをゆっくりと元の位置に戻します。

4 トナーカートリッジを保護袋から取り出します。

保護袋は左右に切り込みがありますので、手で切り取って開けることができます。

5 トナーカートリッジを押さえながらテープをゆっくりと引き上げてはがし①、黒い保護シートごと取り外します②。

6 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと5～6回振って、内部のトナーを均一にならします。

7 トナーカートリッジを平らな場所に置き、図のようにタブを折り①、トナーカートリッジを押さえながらシーリングテープ（長さ約 72cm）をゆっくりと引き抜きます②。

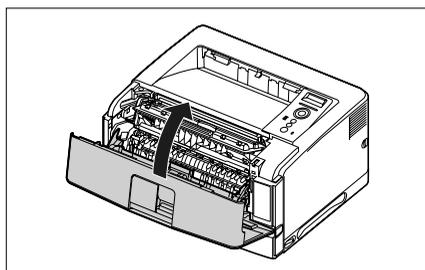
シーリングテープは、タブに指をかけ、矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。

Point

シーリングテープを引き抜くときは、トナーカートリッジメモリ（A）に触れたり、ドラム保護シャッター（B）を手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。

8 図のように矢印のついている面を上にして、トナーカートリッジを正しく持ちます。

9 トナーカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

トナーカートリッジの（A）をトナーカートリッジ（B）に合わせて止まるまで差し込みます。

10 前カバーを閉めます。

前カバーは確実に閉めます。

Point

前カバーが開かないことを確認してください（前カバーとプリンタの間に隙間が空いていたり、前カバーがぐらついていないことを確認してください）。前カバーが確実に閉まっていないと、印字不良の原因になります。

定着ローラを清掃する

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、次の手順で定着ローラを清掃してください。清掃することで、画像不良の発生を防止します。

クリーニングの実行には、約 75 秒かかります。

クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。

クリーニング用紙を使って、定着ローラのクリーニングを行っても、印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、印刷したクリーニング用紙を使わずに A4 サイズの白紙を手差しトレイにセットして、「クリーニング　ジッコウ」を再度行ってください。

プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

オンライン状態になっていない場合、オンライン を押します。

ユーティリティ（ユーティリティ）を押します。

ユーティリティ
ｽﾃｰﾀｽﾌﾟﾘﾝﾄ →

ユーティリティ または セットアップ で「クリーニング」を選択し、OK を押します。

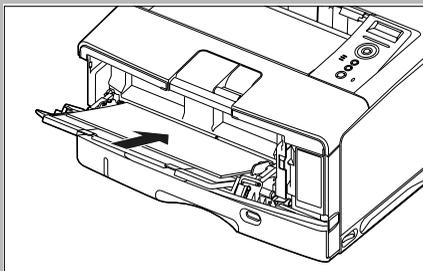
ディスプレイに「クリーニング　ヨウシ」と表示され、クリーニング用紙の印刷待ちになります。

ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ →
ｼﾞｯｺｳﾁｭｳ
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ﾖｳｼ

手差しトレイに A4 サイズの用紙をセットし、オンライン を押します。

クリーニング用紙が印刷されます。

ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ﾖｳｼ
01 ｸﾘｰﾆﾝｸﾞﾁｭｳ
00 ｼｮﾘﾁｭｳ A4
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ｼﾞｯｺｳ

クリーニング用紙の印刷面を下にして、矢印が奥になるように手差しトレイにセットします。

を押します。

ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ｼﾞｯｺｳ
01 ｸﾘｰﾆﾝｸﾞﾁｭｳ

印字濃度の調整をする

印刷結果の印字濃度が濃すぎたり、薄すぎたりするようなときは、次の操作でトナー濃度を調整します。トナー濃度は、工場出荷時に（4）に設定されています。トナー濃度は 1 ～ 16 まで設定できます。

トラブルの対処法

紙づまりの処理

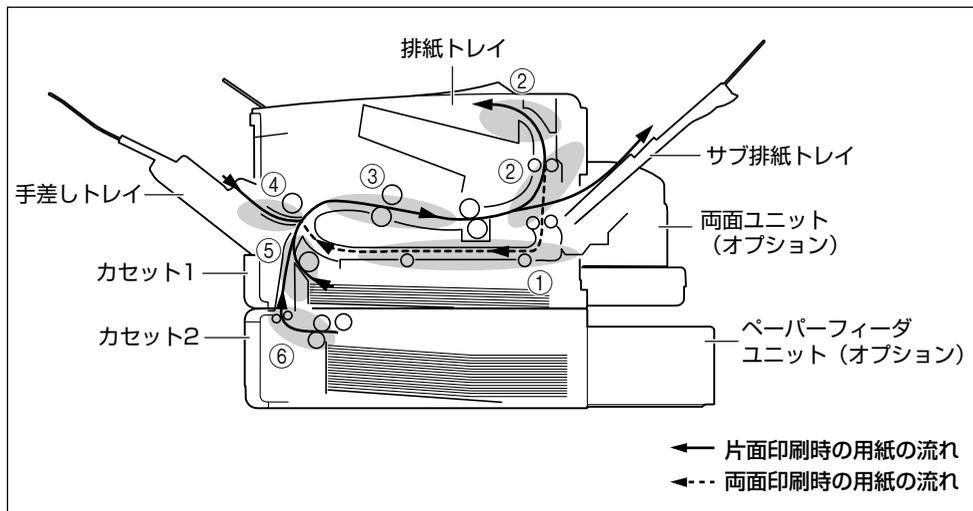
印刷中に、何らかの理由で紙づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「13　ヨウシガ　ツマリマシタ」というメッセージが表示されます。紙づまりが起こったときは、次の手順でつまった用紙を取り除き、印刷を再開します。手順通り用紙を取り除いても紙づまりのメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。

13 ヨウシカ゛ ツマリマシタ

マエカハ゛ー エリア

メッセージが 1 つずつ順に表示されますので、すべてを確認してください。

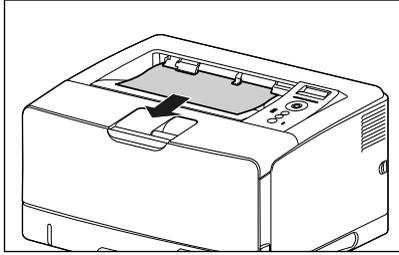
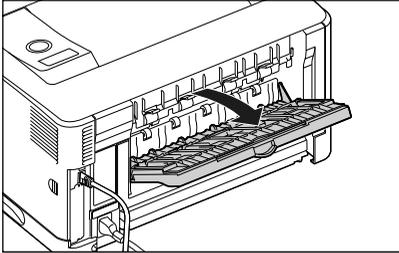
メッセージはカバーを開けると表示されなくなりますので、必要に応じてメモに書きとめておいてください。

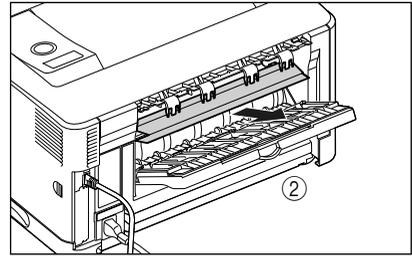
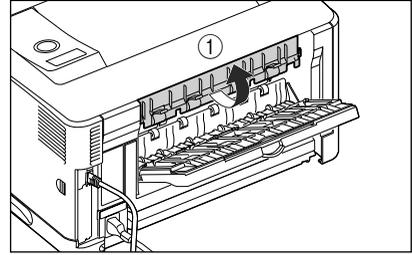
ディスプレイに表示されているメッセージは、紙づまりが起きた場所を示しております。

紙づまりの位置		ディスプレイメッセージ
①	両面搬送部（両面ユニット装着時のみ）	リョウメンユニット　エリア
②	排紙トレイ、サブ排紙トレイ	サブハイシトレイ　エリア
③	前カバー内部	マエカバー　エリア
④	手差しトレイ	テザシトレイ　エリア
⑤	カセット 1	カセット1　エリア
⑥	カセット 2（ペーパーフィーダ装着時のみ）	カセット2　エリア

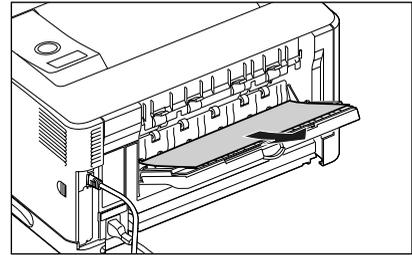
1 排紙先（排紙トレイ、サブ排紙トレイ）につまっている用紙を取り除きます。

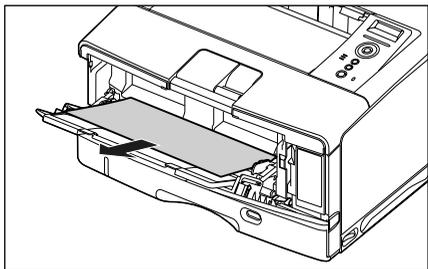
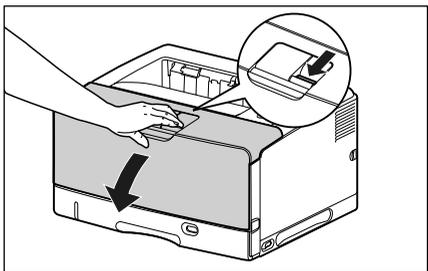
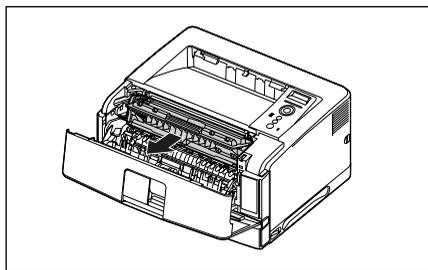
つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

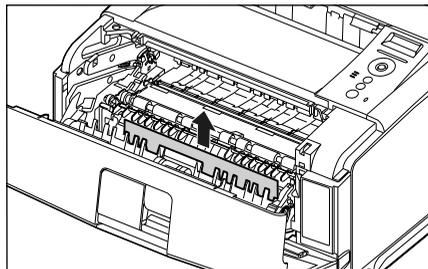
● **排紙トレイを使用していた場合**

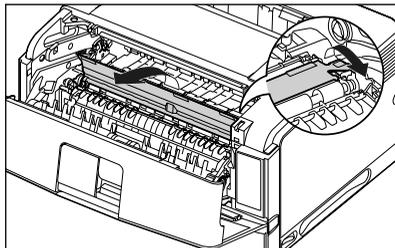
a 排紙トレイにつまっている用紙を取り除きます。

b サブ排紙トレイを開けます。

c サブ排紙トレイ内の白い搬送ガイドを開けて①、つまっている用紙を取り除きます②。

用紙の先端を手前に送り出してから、つまっている用紙を取り除きます。

● **サブ排紙トレイを使用していた場合**

a サブ排紙トレイにつまっている用紙を取り除きます。

2 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイにつまっている用紙を取り除き、手差しトレイを閉めます。

つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

3 前カバーを開けます。

4 トナーカートリッジをプリンタから取り出します。

5 トナーカートリッジを保護袋に入れます。

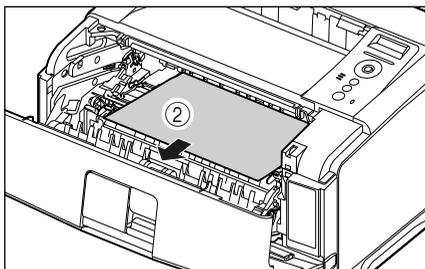
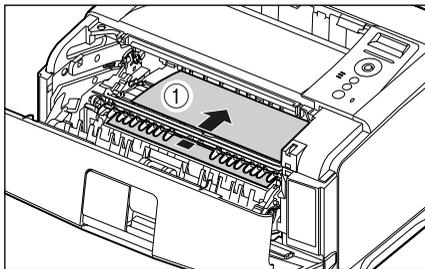
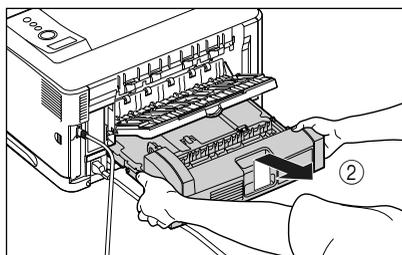
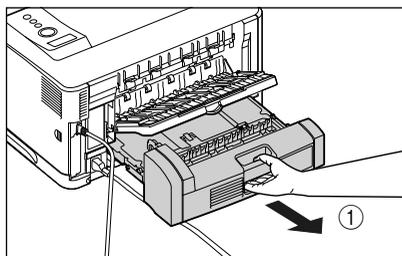
6 前カバー内側につまっている用紙を取り除きます。

7 搬送ガイドを持ち上げます。

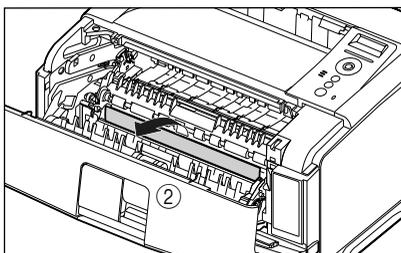
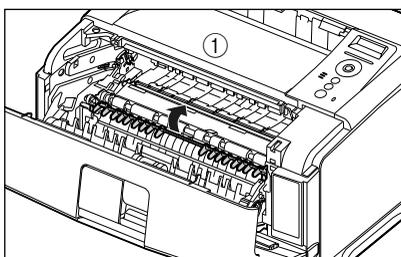
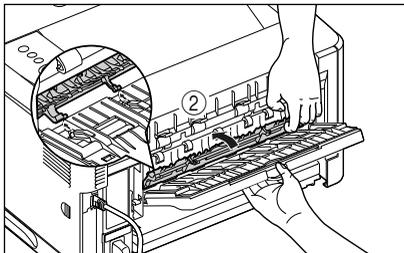
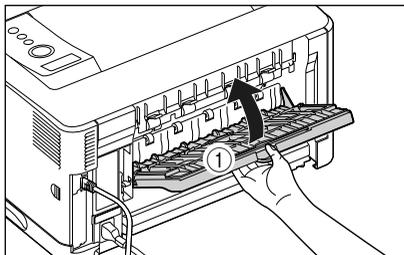
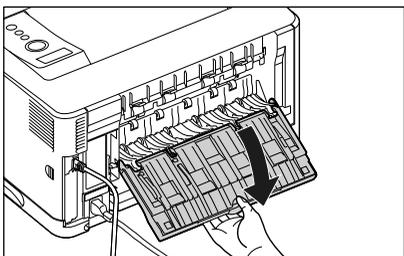
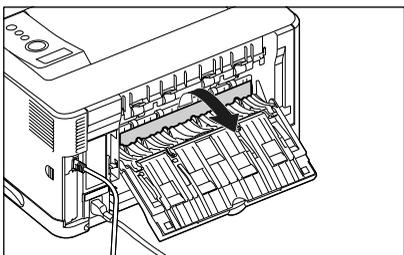
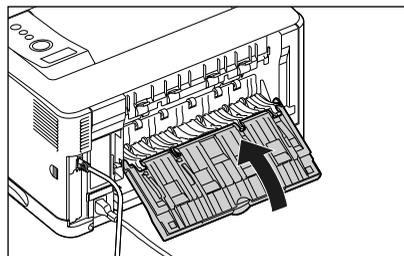
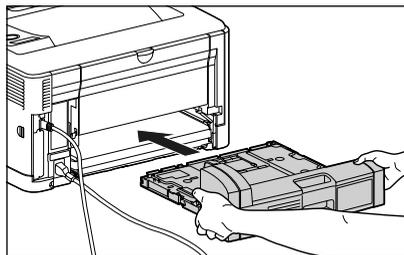
搬送ガイドは緑色の取っ手を持って持ち上げます。

8 つまっている用紙を取り除きます。

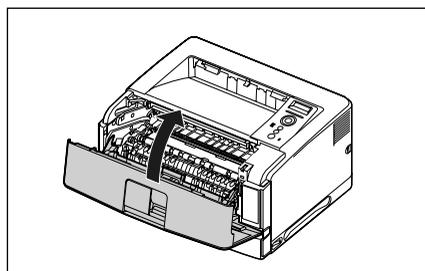
用紙の手前側を搬送ガイドから送り出してから①、用紙をゆっくりと矢印の方向に取り除きます②。定着していないトナーをこぼさないようにゆっくりと矢印の方向に取り除いてください。

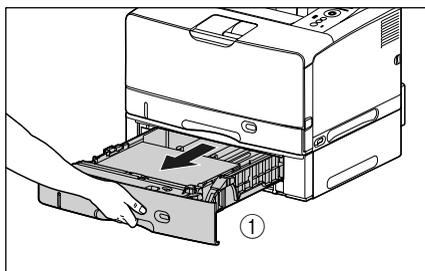
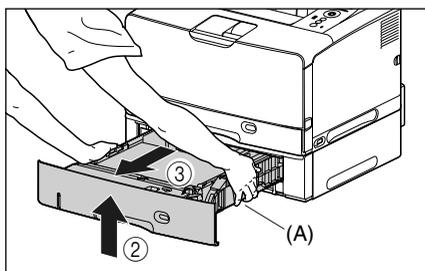
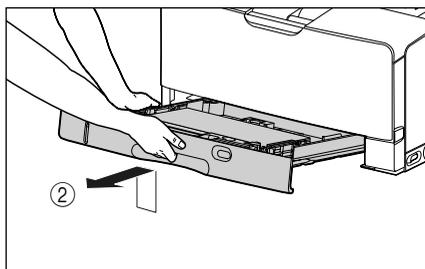
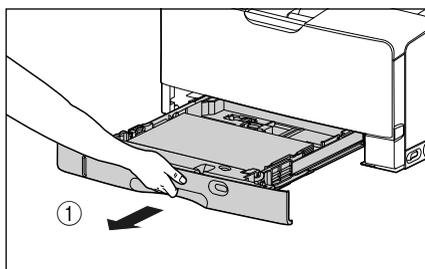
9 両面印刷して紙づまりが起こった場合は、以下の手順を行ってください。

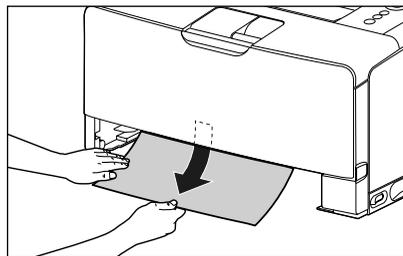
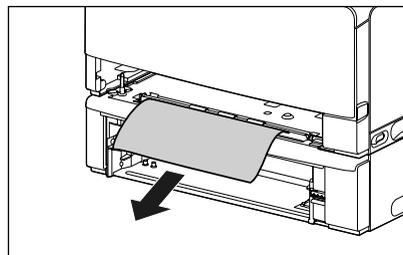
両面印刷をしていない場合は、次の手順に進みます。

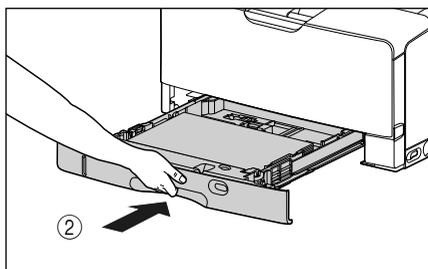
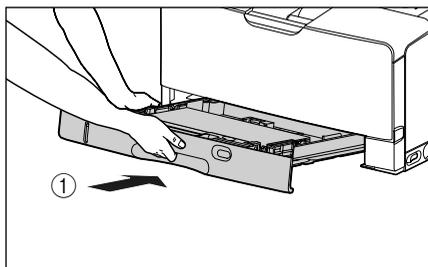
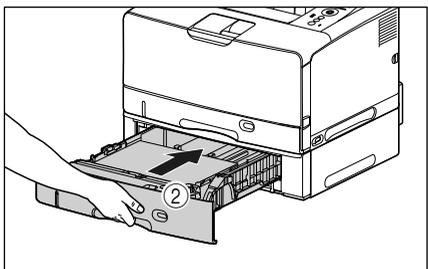
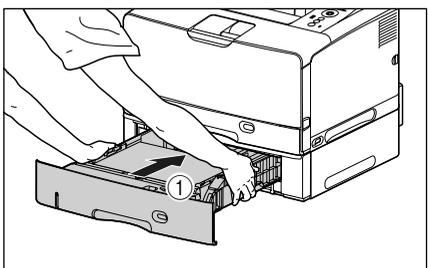
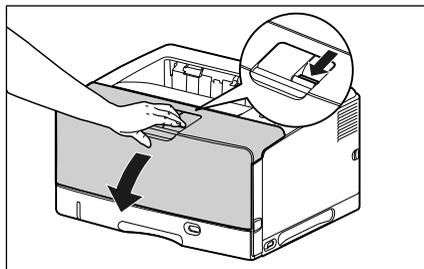
a 黒色の搬送ガイドを上げ①、つまっている用紙を取り除きます②。

b 両面ユニットを止まる位置までゆっくりと引き出し①、手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します②。

c 両面ユニットにつまっている用紙を取り除きます。

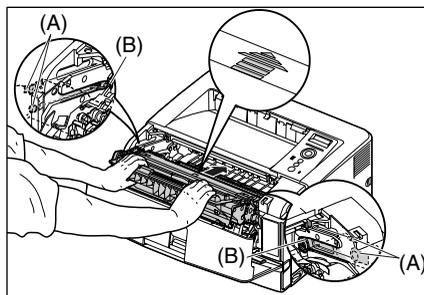
(A) の部分に用紙が見えている場合は手前に用紙を引っぱって取り除きます。

d サブ排紙トレイを少し閉じて①、黒い搬送ガイドのフックを取り外します②。

e サブ排紙トレイを図の位置まで開けます。

f つまっている用紙を取り除きます。

g サブ排紙トレイを閉めます。

h 両面ユニットを図のように持って、水平にしっかりと奥まで押し込みます。

10 サブ排紙トレイを使用していた場合は、サブ排紙トレイを開け、排紙トレイを使用していた場合は、サブ排紙トレイを閉めます。

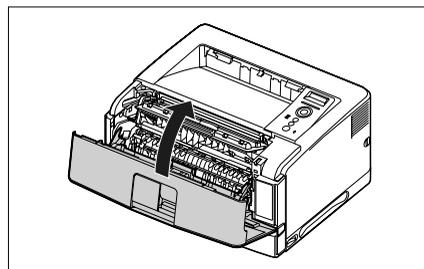
11 前カバーを閉めます。

12 ペーパーフィーダが装着されている場合は、給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します①。

図のように取っ手（A）を両手で持って、給紙カセットの手前を少し持ち上げてから②、完全に引き出します③。

13 プリンタ本体の給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出し①、手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します②。

14 つまっている用紙を取り除きます。

a プリンタ本体の給紙カセットに用紙がつまっている場合は、図のように下に引っぱって取り除きます。

b ペーパーフィーダとプリンタ本体の間に用紙がつまっている場合は、図のようにプリンタ本体側から取り除きます。

15 給紙カセットを図のように斜めに差し込み①、ゆっくりと水平に押し込んでプリンタ本体にセットします②。

給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

ペーパーフィーダが装着されている場合は、ペーパーフィーダの給紙カセットもセットします。

16 前カバーを開けます。

17 トナーカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

トナーカートリッジの（A）をトナーカートリッジガイド（B）に合わせて止まるまで差し込みます。

18 前カバーを閉めます。

前カバーを確実に閉めます。

Point

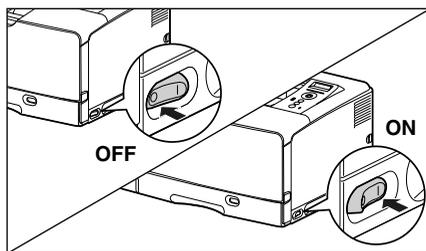
前カバーが開かないことを確認してください（前カバーとプリンタの間に隙間が空いていたり、前カバーがぐらついていないことを確認してください）。前カバーが確実に閉まっていないと、印字不良の原因になります。

こんなメッセージが表示されたら

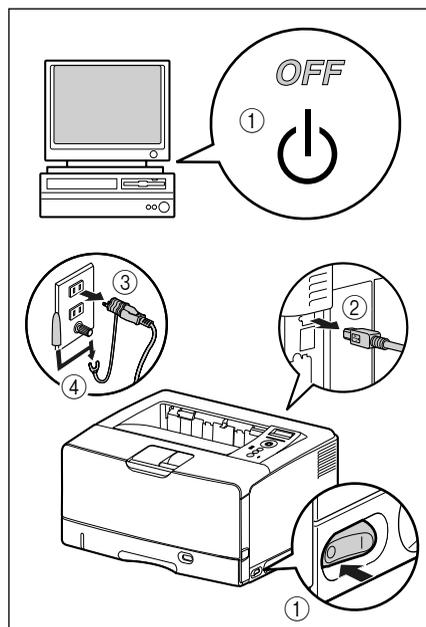
「Ennn-nnnn」、「F9-nn　チェックプリンタ」が表示されたときは

本プリンタの内部機構や印刷データ処理中にトラブルが発生した場合、次のようなサービスコールが表示されます。

メッセージ	原因	処置
Ennn-nnn （n は英数字）	プリンタの内部機構にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。 数回電源を入れなおしてもメッセージが消えない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
E001-nnnn E003-nnnn （n は英数字）	定着器にトラブルが発生した。	次の手順 2 以降にしたがって、お買い求めの販売店にご連絡ください。
F9-nn ﾁｪｯｸﾌﾟﾘﾝﾀ （n は英数字）	印刷データ処理中にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。

1 電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。

メッセージが表示されない場合は、そのままご使用になれます。再度メッセージが表示された場合は、次の手順に進んでください。

2 ディスプレイに表示されている英数字とメッセージを書きとめます。

3 プリンタとコンピュータの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。

4 お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご連絡の際には、症状およびメモしたコードナンバーをお知らせください。

不明な点がありましたら、「お客様相談センター」（→ P.5-2）にお問い合わせください。

メッセージ一覧

プリンタの使用中に、何らかの理由で印刷が不可能な状態（エラー状態）になると、ブザーが鳴り、メッセージランプが点灯してディスプレイにトラブル内容を示すエラーメッセージを表示します。

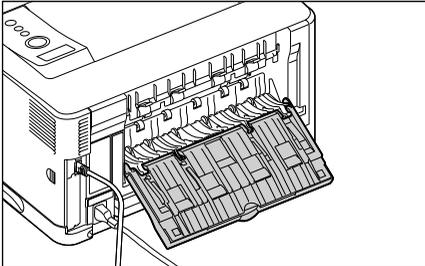
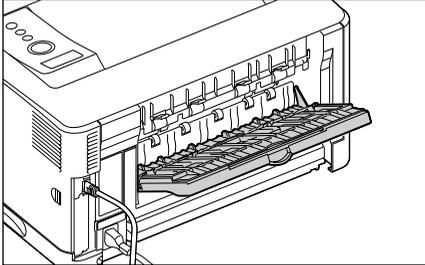
また、印刷に支障はないが何らかの処置が必要な状態（警告状態）になると、ディスプレイに警告メッセージを表示します。

これらのメッセージが表示されたときは、メッセージに応じて次のような処置を行ってください。

- 警告メッセージ の付いているメッセージは、メッセージが表示されている場合（警告状態が発生している場合）でも、プリンタは停止しません。
- 自動エラースキップ可 のマークが付いているメッセージは、[オンライン] を押すとエラーを回避（エラースキップ）して印刷を継続できますが、印刷データが欠落したり、正しく印刷されなかったりします。処理を中止したいときは、ソフトリセットの操作を行い、原因を取り除いてから、[オンライン] を押して再度印刷しなおしてください。また、このマークが付いているメッセージは、共通セットアップメニューの「自動エラースキップ」を「スル」に設定すると自動的にエラースキップさせることもできます。

● ユーザーズガイドにはメッセージごとの詳細な解決法が記載されています。メッセージが本書に記載されていなかったり、メッセージの詳細を知りたいときには、ユーザーズガイド第 5 章「メッセージ一覧」をお読みください。

メッセージ	原因と処置
02　レイキャクチュウ	原因：連続印刷（特に幅の狭い用紙）によって定着器の温度が一定の温度を超えた 処置：そのまましばらくお待ちください。プリンタが自動的に定着器の冷却を行います。冷却が終了すると印刷を再開します。
0F　オプション　カクニン	原因：オプションのペーパーフィーダまたは両面ユニットが正しく取り付けられていない 処置：電源をいったんオフにし、ペーパーフィーダまたは両面ユニットを正しく取り付けてから電源をオンにしなおしてください。（→設置ガイド「第 3 章オプション品の取り付け」）
11　XXX ヨウシガアリマセン （XXX は用紙サイズ略号）	原因：給紙元にアプリケーションソフトから指定したサイズの用紙がセットされていない（給紙モードが「ジドウ」のときはすべての給紙元、固定のときは設定されている給紙元） 処置：用紙を補給またはセットしてください。

メッセージ	原因／処置
12　カバーガ　アイテイマス	原因：前カバーが開いている、またはサブ排紙トレイが図の位置まで開いている 処置：前カバーをしっかりと閉めます、またはサブ排紙トレイを図の位置まで閉じてください。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。
13　ヨウシガ　ツマリマシタ	原因：内部で紙づまりを起こしている 処置：紙づまりを除去し、給紙カセットやカバーを元に戻してください。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。（→紙づまりの処理：P.3-2）
14　トナー　ミソウチャク	原因：トナーカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない 処置：トナーカートリッジをセットする、または正しくセットしてください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-28）
16 トナー　ヨウイ 警告メッセージ	原因：トナーの残量が少なくなってきている 処置：少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量に印刷するときや画像に白抜けが発生したときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。前カバーを閉めたあと、オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-28）
16　トナー　カクニン	原因：トナーの残量が少なくなってきている 処置：［オンライン］を押します。少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量に印刷するときや画像に白抜けが発生したときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。前カバーを閉めたあと、オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-28）
18　カセット1　ナシ	原因：カセット 1 がセットされていない 処置：カセット 1 をセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-5）
18　キュウシ　エラー	原因：手差しトレイや給紙カセットから給紙できない用紙サイズまたは用紙タイプの用紙が指定されている 処置：給紙元を指定している場合は、［給紙選択］を押して、「給紙モード」を「ジドウ」に設定してください。
1F　ハイシトレイ　フル	原因：排紙トレイが満載になった 処置：排紙トレイの用紙を取り除いてください。
1G　トナー　カクニン 警告メッセージ	原因：トナーカートリッジが寿命に到達した 処置：トナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジと交換します。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-28）

1H　トナーセツゾクカクニン 警告メッセージ	原因：トナーカートリッジが正しく取り付けられていない可能性がある 処置：トナーカートリッジを取り出し、正しくセットしなおしてください。
23　ダウンロードメモリフル 自動エラースキップ可	原因：オーバレイフォームや外字などを登録するメモリが不足してオーバーフローした 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと､次のような方法でRAMの空き容量を増加し、データを登録しなおして印刷します。 ・ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）。 ・オプションの拡張RAMを取り付ける。（→ RAM/ROM：P.4-8）
26　システムメモリ　フル 自動エラースキップ可	原因：システムのデータ処理（主に図形処理や文字処理）時に、処理に必要なワークメモリが不足した 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと､次のような方法でRAMの空き容量を増加します。 ・ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）。 ・オプションの拡張RAMを取り付ける。（→ RAM/ROM：P.4-8）
27　ジョブカイシ　エラー 自動エラースキップ可	原因：指定したエミュレーションが存在しない 処置：本プリンタに内蔵のエミュレーションを指定します。
30　メモリ　フル 自動エラースキップ可	原因：システムのデータ処理で、ワークメモリが不足した 処置：［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されないことがあります。
32　リョウメンインサツ　エラー 自動エラースキップ可	原因：自動両面印刷できない用紙サイズ（向きを含む）または用紙タイプの両面データを受信した 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと、自動両面印刷可能な用紙サイズあるいは用紙タイプに変更して、印刷しなおします。
33　ワークメモリ　フル 自動エラースキップ可	原因：各動作モード専用のワークメモリが確保できない 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと､次のような方法でRAMの空き容量を増加し、印刷しなおします。 ・ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（プリンタが受信したメモリ内のデータは､すべて消去されますので気を付けてください）。 ・オプションの拡張RAMを取り付ける。ただし、LIPS LXプリンタドライバ以外からのジョブは､拡張RAMを取り付けても問題が解決しない場合があります。（→RAM/ROM：P.4-8）
35　トウロクテーブル　フル 自動エラースキップ可	原因：1つのジョブの中にあるドキュメント数が16を超えた 処置：［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したジョブは印刷されません。
38　ガシツ　テイカ 自動エラースキップ可	原因：データが複雑すぎて処理できない 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループグループで「階調処理」を「ヒョウジュン」に設定し、印刷しなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」）
39　スプールメモリフル 自動エラースキップ可	原因：スプールメモリが不足したため、印刷できない 処置：［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは印刷されません。
41　ヨウシサイズ　カクニン 自動エラースキップ可	原因：実際に手差しトレイにセットした用紙サイズと、パソコンまたは操作パネルから設定した「手差しトレイ用紙サイズ」の設定が違っている 処置：「手差しトレイ用紙サイズ」とセットした用紙のサイズを合わせ［オンライン］を押してください。（→ LIPS 機能ガイド「第3章 共通セットアップメニューの設定項目」） 原因：LIPS LXプリンタドライバを使用して、長辺が312.0mm（給紙カセットの場合は､297.0mm）以下の定形外の用紙を縦置きにセットして印刷した 処置：横置きにセットして印刷しなおします。
52　イメージモード　エラー 自動エラースキップ可	原因：イメージモードで印刷中に、対応していない形式のデータを受信した 処置：イメージデータ形式に対応したプリンタドライバで印刷しなおします。
53　セキュアプリント　エラー 自動エラースキップ可	原因：LBP3950/3900 用でないプリンタドライバからセキュアプリントの設定をしたデータが送られてきた 処置：リセットメニューでソフトリセットをして印刷データを削除します。
53　ホゾン　エラー 自動エラースキップ可	原因：LBP3950/3900 用でないプリンタドライバから保存ジョブプリントの設定をしたデータが送られてきた 処置：［オンライン］を押して印刷をキャンセルします。

メッセージ	原因・処置
58　ジョブメモリ　フル 自動エラースキップ可	原因：ジョブを処理するための RAM の空き容量が不足している 処置：一度に複数のジョブを処理していた場合は、［オンライン］を押して印刷をキャンセルしたあと、他のジョブが終了するのを待って印刷しなおします。
59　ジョブジュシンエラー 自動エラースキップ可	原因：ジョブ受信中に解析不可能なデータを受信したかタイムアウトが発生した 処置：［オンライン］を押して印刷をキャンセルしたあと、印刷しなおします。
96　サブハイシトレイカクニン／シメテ　クダサイ	原因：自動両面印刷時にフェースアップで排紙しようとした 処置：サブ排紙トレイを閉めます。印刷が再開され、排紙トレイに排紙されます。
9F　トナー　カクニン 警告メッセージ	原因：一度寿命に到達した使用済みのトナーカートリッジがセットされている可能性がある 処置：トナーカートリッジに問題がないか確認してください。
A4　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	原因：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
A5　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	原因：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
A7　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	原因：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
D0　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	原因：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
D1　ブンカツメモリ　フル	原因：分割印刷モード時に分割印刷用バッファがオーバーフローした 処置：リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GL セットアップメニューの「分割印刷」を「シナイ」、「拡大／縮小」を「ジドウ」に設定し、出力用紙サイズを指定して印刷しなおします。ただし、作図データは拡大／縮小されて印刷されます。（→ HP-GL ユーザーズガイド）
D1　リプロットバッファフル	原因：リプロットバッファがオーバーフローした 処置：リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GL　のリプロットバッファに保存するデータ数を 54206 バイト以内に設定し、印刷しなおします。（→ HP-GL ユーザーズガイド）
D1　ポリゴンバッファフル	原因：ポリゴンバッファがオーバーフローした 処置：リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GL のポリゴンバッファに保存するデータ数を 40882 バイト以内に設定し、印刷しなおします。（→ HP-GL ユーザーズガイド）
D8　レイアウト　エラー	原因：メモリ不足によりページをレイアウトできない 処置：LIPS LX ドライバの［グラフィックモード］の設定を「イメージモード」にして印刷しなおしてください。（→ LIPS LX プリンタドライバのヘルプ）
D8　バージョン　エラー	原因：LBP3950/3900 用でないプリンタドライバから印刷した 処置：LBP3950/3900 用のプリンタドライバから印刷しなおしてください。
D8　シンタックス　エラー	原因：LIPS LX プリンタドライバを使用して印刷したときに、不正なデータが送られた 処置：［オンライン］を押して、次の印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページ以降は印刷されません。
D8　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	原因：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
D9　IMG　データ　エラー	原因：TIFF または JPEG データの中に、本プリンタでは処理できないデータが含まれている 処置：本プリンタでは印刷できないデータです。［オンライン］を押して、印刷をキャンセルします。

D9　IMG　サンショウ　エラー	原因：TIFF データの中に、本プリンタでは処理できないデータが含まれている 処置：本プリンタでは印刷できないデータです。［オンライン］を押して、印刷をキャンセルします。
D9　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	原因：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
ES　CIS センサ　カクニン	原因：印字位置が正しく補正されていない可能性がある 処置：両面ユニットをセットしなおしてください。それでもこのメッセージが表示される場合は、新しい両面ユニットに交換することをおすすめします。（→両面ユニット：P.4-6）
F2　フォント　ミジッソウ 自動エラースキップ可	原因：オーバレイフォームの作成に使用した登録フォントが、印刷時に消去されていた 処置：メモリに再度フォントを登録しなおすか、使用可能な登録フォントを使ってフォームを作り、印刷しなおします。
F9-nn　チェック　プリンタ （nn は 2 桁の英数字）	原因：印刷データ処理中にトラブルが発生した 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
FF　フォント　フル 自動エラースキップ可	原因：登録するフォントの数が多すぎてフォントの情報を登録するための領域（フォントテーブル）がオーバーフローした 処置：［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは正しく印刷されません。
FM　サイズ　エラー 自動エラースキップ可	原因：擬似スケーラブル可能な大きさを超えた文字がある 処置：「オンライン」を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生した文字は正しく印刷されません。
FM　ザヒョウテン　エラー 自動エラースキップ可	原因：擬似スケーラブルの輪郭座標点の点数が最大値を越えた文字がある 処置：「オンライン」を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生した文字は正しく印刷されません。
PC　XXX　ヨウシニ　コウカン （XXX は用紙サイズ略号）	原因：アプリケーションソフトで設定したサイズの用紙が、プリンタの給紙カセットや手差しトレイにセットされていない、もしくは、違う用紙サイズの給紙元が選択されている 処置：選択されている給紙カセットにアプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定したサイズの用紙をセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-5）

正しく印刷できないときは

本プリンタの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

印刷を行う前に、アプリケーションソフトの印刷プレビュー機能で、印刷データが画面に正常に表示されているかを確認してください。印刷プレビューの表示方法は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

● ユーザーズガイドにはトラブルごとの詳細な解決法が記載されています。本書に記載されている確認作業を行っても解決できないときには、ユーザーズガイド第5章「正しい印刷結果が得られないときには」をお読みください。

症状	原因	処置
意味不明の半角文字が印刷される	動作モードの自動切り替えがうまく働かなかった	動作モードを目的のエミュレーションに固定して印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第3章共通セットアップメニューの設定項目」）
	LIPS 専用セットアップメニューの漢字コードの設定が違っている	LIPS 専用セットアップメニューの漢字コードの設定をパソコンで使用している漢字コードに正しく合わせてください。（→ LIPS 機能ガイド「第4章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）
	付属の Windows 用 LIPS プリンタドライバをインストールせずに Windows から印刷した	付属の Windows 用 LIPS プリンタドライバをインストールし、印刷しなおしてください。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編「第2章 Windows から印刷するには」）
	DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定が適切でない	DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定を、本プリンタと互換性のあるプリンタに再設定します。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編「第4章 DOS から印刷するには」）
	コントロール ROM をセットして使用中に、動作モードの自動切り替えができなかった	動作モードを、プリンタ本体にセットしたコントロール ROM のエミュレーションに固定し、インタフェースの設定を、パソコンと接続しているインタフェースに固定して印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第3章共通セットアップメニューの設定項目」）
指定した書体と違う書体で印字される	Windows 用 LIPS IV プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えが設定されている	Windows 用 LIPS IV プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えを正しく設定しなおし、印刷しなおしてください。（→プリンタドライバのヘルプ）
白紙のページが印刷されない	LIPS4 セットアップメニューまたは LIPS LX セットアップメニューの「白紙節約」が「ツカウ」になっている	白紙のページを印刷するときは、「白紙節約」を「ツカワナイ」に設定します。（→ LIPS 機能ガイド「第4章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）
最後のページが印刷できない	パソコンからデータの終わりを表すコマンドが送られて来ない（ジョブランプが点灯している）	［オンライン］を押してオフラインの状態にし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します（印刷機能のないアプリケーションソフトで印刷した場合、最後のページのデータが1ページに満たないと、そのままメモリ内に残ってしまいます）。（→印刷の中止方法：P.1-5）

データが用紙をはみだした	LIPS LX プリンタドライバを使用して、長辺が 312.0mm（給紙カセットの場合は、297.0mm）以下の定形外の用紙を縦置きにセットして印刷した	横置きにセットして印刷しなおします。
	LIPS LX プリンタドライバを使用せずに、定形外の用紙を横置きにセットして印刷した	縦置きにセットして印刷しなおします。
	データのサイズより小さな用紙をセットした	データのサイズに合った用紙をセットするか、用紙サイズに合わせた縮小率で縮小印刷をしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第4章LIPS専用セットアップメニューの設定項目」）
	用紙をセットする位置が合っていない	用紙を正しくセットし、印刷しなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-5、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-11）
	余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した	本プリンタの有効印字領域は用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm。LIPS LX プリンタドライバを使用する場合の洋形 4 号と洋形 2 号の右は 7.6mm）の範囲を除いた領域です。データの周囲に余白を取ってください。
		LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックすると、印字領域を広げて印刷します。ただし、データの周囲が欠けて印字されることがあります。
	ESC/P モードの「ページフォーマット」の設定が合っていない	ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド）
	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で印字位置が調整されている	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で適切な値に調整してください。（→ユーザーズガイド「第４章「印字位置の調整する」）
印字位置がずれてしまう	セットアップメニューのレイアウトグループの「とじしろ」、「縦位置補正」、「横位置補正」が設定されている	セットアップメニューのレイアウトグループの「とじしろ」、「縦位置補正」、「横位置補正」の設定を「0」に設定し、印刷しなおします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」）
	アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない	アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→アプリケーションソフトの取扱説明書）
	ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置微調整」の設定が合っていない	ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置微調整」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド）
	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で印字位置が調整されている	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で適切な値に調整してください。（→ユーザーズガイド「第４章「印字位置の調整する」）
印字位置がだんだんずれていく	ESC/P モードを使用しているときに、ページフォーマットの設定とアプリケーションソフトで設定した用紙の種類が合っていない	アプリケーションソフトの用紙の種類とページフォーマットの設定を合わせて印刷しなおします。（→ユーザーズガイド「第２章「動作モードについて」）
ページの途中から次ページに分かれて印刷される	アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない	1 ページに収まるように、アプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してから印刷しなおします。（→アプリケーションソフトの取扱説明書）
	セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」が「ジドウセンタク」に設定されているときに、セットアップメニューのインタフェースグループの「タイムアウト」の設定秒数が短すぎる	セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」を「ジドウセンタク」以外に設定するか、「タイムアウト」の設定秒数を十分に長くします。（→ LIPS 機能ガイド「第３章共通セットアップメニューの設定項目」）

縮小されて印刷される	縮小印刷の設定がされている	LIPS セットアップメニューの「拡大／縮小」を「シナイ」にしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）
		プリンタドライバの「拡縮率」の設定を確認してください。（→ LIPS ソフトウェアガイド／本編）
	ESC/P モードで使用しているときに、ページフォーマットが「B4 → A4 タテ」「B4 → A4 ヨコ」に設定されている	ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 5 章 ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」）
用紙にしわがよる	給紙カセットや手差しトレイに用紙が正しくセットされていない	給紙カセットや手差しトレイに用紙を正しくセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-5、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-11）
	用紙の保管状態が悪く、吸湿している	新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	用紙の種類によっては、しわがよることがある	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループで、「うねり特殊処理」を「スル」に設定してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」）
用紙がカールする	用紙の保管状態が悪く、吸湿している	新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	用紙が適切でない	本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（→用紙について：P.2-2）
	薄手の用紙を使用している	プリンタドライバで［用紙タイプ］を［普通紙 L］に設定します。 ［用紙タイプ］の設定は、［給紙］ページで行います。
	カールしやすい用紙を排紙トレイに排紙している	カールしやすい OHP フィルムや封筒などに印字するときは、サブ排紙トレイに切り替えます。（→ユーザーズガイド「第 3 章「排紙先について」」）
用紙が真っ白で何も印刷されない	シーリングテープを引き抜かずにトナーカートリッジをセットした	トナーカートリッジを取り出し、シーリングテープを抜き取ってセットしなおしてください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-28）
	用紙が重なって送られた	給紙カセットや手差しトレイの用紙を、よく揃えてからセットしなおしてください。OHP フィルム、ラベル用紙の場合は、よくさばいてセットしなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-5、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-11）
	プリンタ内部でトラブルが発生している	ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。
		上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。
印刷した OHP フィルムに白い粉がつく	OHP フィルム以外の用紙を連続印刷したあとに OHP フィルムを印刷した	OHP フィルム以外の用紙を連続して印刷したあとに、OHP フィルムを印刷すると紙粉が付着して排紙される場合があります。このような場合は、やわらかい布で紙粉をこすり、取り除いてください。
白いすじが入る	トナーがなくなった	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-28）
	トナーカートリッジ内のドラムが劣化している	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-28）
部分的に白く抜ける	適切な用紙を使用していない	使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	用紙の保管状態が悪く、吸湿している	新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	トナーカートリッジ内のドラムが劣化している	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-28）
印字が全体的にうすい	トナー濃度の設定が適当でない	セットアップメニューの印字調整グループで、「トナー濃度」を調節してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」）
	セットアップメニューの印字調整グループで、「ドラフトモード」が「ツカウ」に設定されている	セットアップメニューの印字調整グループで、「ドラフトモード」を「ツカワナイ」に設定してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」）

印字が全体的に黒ずむ	トナー濃度の設定が適当でない	セットアップメニューの印字調整グループで、「トナー濃度」を調節してください。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」)
	プリンタが直射日光または強い光が当たる場所に設置されている	プリンタを直射日光または強い光が当たらない場所に移動してください。あるいは、強い光を出す光源をプリンタから離してください。
印字ムラが出る	トナーがなくなった	新しいトナーカートリッジに交換してください。(→トナーカートリッジを交換する：P.2-28)
	用紙が湿っている、あるいは乾燥している	適切な用紙に交換し、印刷しなおしてください。(→用紙について：P.2-2)
	トナーカートリッジが劣化、あるいは損傷している	新しいトナーカートリッジに交換してください。(→トナーカートリッジを交換する：P.2-28)
印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着する	定着ローラが汚れている	定着ローラを清掃してください。(→定着ローラを清掃する：P.2-32)
ページの一部が印刷されない	拡大／縮小率の設定が適当でない	プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを消します。チェックマークを消すと、［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に応じて拡大／縮小率が自動的に設定されます。［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。
		プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを付け、使用する用紙サイズに適した倍率を設定します。［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。
	用紙をセットする位置が合っていない	用紙を正しくセットしてください。(→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-5、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-11)
	余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した	本プリンタの有効印字領域は用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm。LIPS LX プリンタドライバを使用する場合の洋形 4 号と洋形 2 号の右は 7.6mm）の範囲を除いた領域です。データの周囲に余白を取ってください。
		LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックすると、印字領域を広げて印刷します。ただし、データの周囲が欠けて印字されることがあります。
用紙全面が真っ黒に印刷される	トナーカートリッジ内のドラムが劣化している	新しいトナーカートリッジに交換してください。(→トナーカートリッジを交換する：P.2-28)

プリンタが動作しない・印刷できないときは

本プリンタが動作しない、キー操作ができない、データ送信できないなど正常に動作しないときは、以下の確認を行ってください。

- ユーザーズガイドにはトラブルごとの詳細な解決法が記載されています。本書に記載されている確認作業を行っても解決できないときには、ユーザーズガイド第5章「正しい印刷結果が得られないときには」をお読みください。

症状	原因	処置
電源が入らない	電源プラグが電源コンセントから抜けている	電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
	延長コードを使用したりタコ足配線をしている	壁の電源コンセントに直接電源プラグを差し込みます。
	ブレーカが落ちている	配電盤のブレーカをオンにします。
	電源コード内部で断線している	同じタイプの他の装置に使用している電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい電源コードを購入の上交換してください。
プリンタが動かない	オフラインになっている	［オンライン］を押し、オンラインランプを点灯します。（→ユーザーズガイド「第2章オンラインとオフライン」）
	メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）	［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを出力します。（→印刷の中止方法：P.1-5）
	インタフェースケーブルが外れている	インタフェースケーブルをパソコンおよびプリンタ本体のインタフェース接続部にしっかりと接続します。（→設置ガイド「第2章プリンタの設置」）
	本プリンタやオプション品に故障がある	ディスプレイのメッセージを見て、処置します。（→こんなメッセージが表示されたら：P.3-9）
プリントサーバのランプがすべて消灯している	LANケーブルが正しく取り付けられていない、または断線している	LANケーブルを一度取り外し、接続しなおします。
		他のLANケーブルに交換し、接続しなおします。
	ハブのUP-LINK（カスケード）ポートに接続している	ハブの“X”マークのあるポートに接続しなおします。
		ハブにUP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は、“X”側に切り替えます。
	クロスタイプのLANケーブルを使っている	ストレートタイプのLANケーブルと交換します。
		クロスタイプのLANケーブルをハブのUP-LINK（カスケード）ポートに接続します。ハブにUP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は“=”側にします。
	ハブと通信できない	ハブの電源がオンになっていることを確認します。
		接続したハブの通信速度に合わせてプリントサーバの通信設定をします。（→LIPS機能ガイド「第3章共通セットアップメニューの設定項目」）
		ハブを交換します。
	プリントサーバのハードウェアに異常がある	お買い求めの販売店に状況を連絡してください。
印刷が途中で止まってしまった	メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）	［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを出力します。（→印刷の中止方法：P.1-5）
操作パネルのランプがつかない	電源がオンになっていない	電源をオンにしてください。
	スリープモードになっている	印刷データを送るか、操作パネルのキーをどれか押すと印刷可能な状態に戻ります。
操作パネルのキーが機能しない	メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）	［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します。（→印刷の中止方法：P.1-5）
	キーロック機能が働いている（キーを押すとピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「キー　ロック　チュウ」と表示される）	リモートUIからキーロック機能を解除します。プリンタの管理者にご連絡ください。

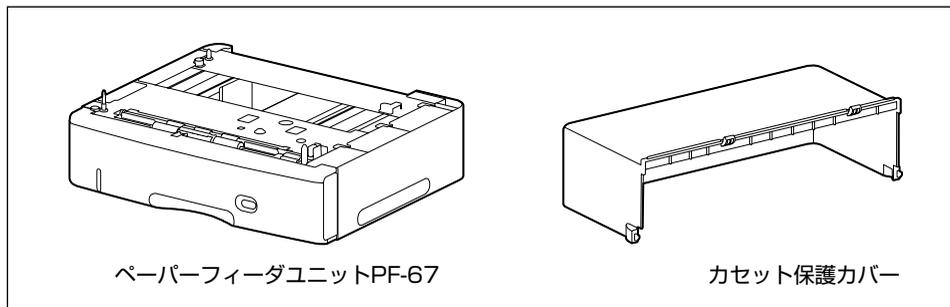
印刷するたびに紙づまりが起こる	給紙カセットや手差しトレイにセットした用紙が積載制限を超えている	用紙を積載制限の範囲内まで減らし、印刷しなおしてください。(→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-5、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-11)
	給紙カセットや手差しトレイに用紙が正しくセットされていない	用紙を正しくセットしなおし、印刷しなおしてください。(→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-5、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-11)
	給紙カセットや手差しトレイに使用できない用紙がセットされている	使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。(→用紙について：P.2-2)
	LIPS LX プリンタドライバを使用して、長辺が312.0mm(給紙カセットの場合は、297.0mm)以下の定形外の用紙を縦置きにセットして印刷した	横置きにセットして印刷しなおします。
	LIPS LX プリンタドライバを使用せずに、定形外の用紙を横置きにセットして印刷した	縦置きにセットして印刷しなおします。
	紙づまり処理が不完全である	紙づまりを除去し、印刷しなおしてください。(→紙づまりの処理：P.3-2)

オプションの設置

Chapter

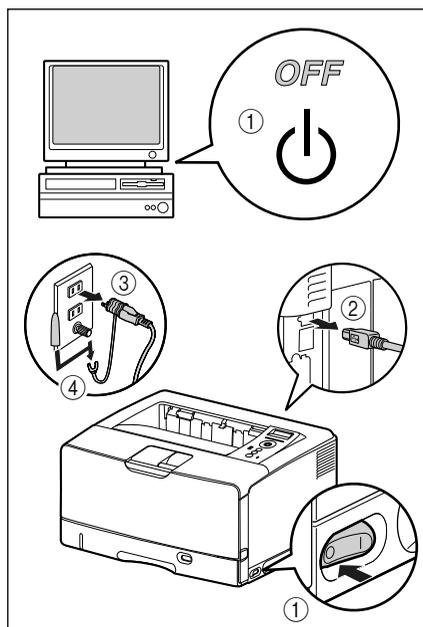
ペーパーフィーダ

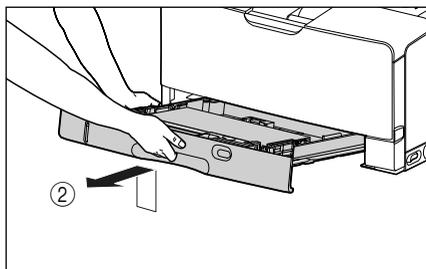
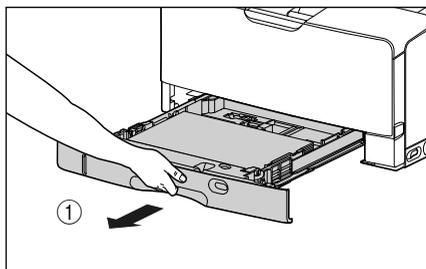
ペーパーフィーダは、プリンタ本体の底面に取り付けて使用します。

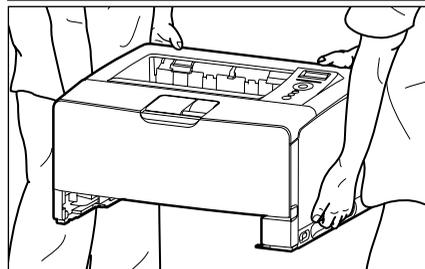
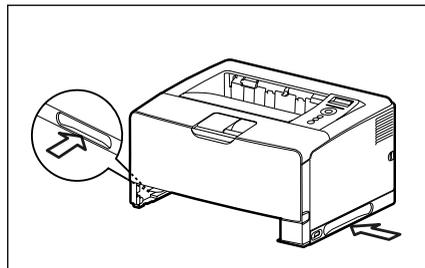
ペーパーフィーダを設置する前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかを確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

ペーパーフィーダユニットPF-67　　カセット保護カバー

プリンタ本体を移動する

プリンタ設置後に、ペーパーフィーダを取り付けるときは、次の手順でプリンタをいったん適切な場所に移動させます。

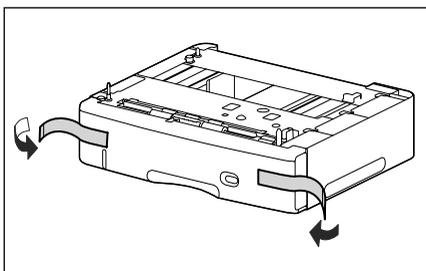
1 プリンタとコンピュータの電源をオフにし①、USB ケーブルを抜き②、電源プラグを電源コンセントから抜いて③、アース線を専用のアース線端子から取り外します④。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。

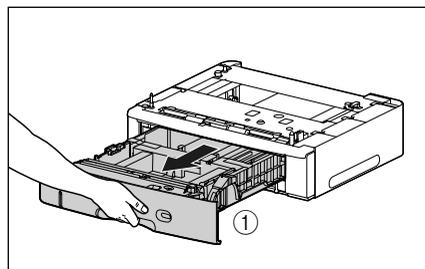
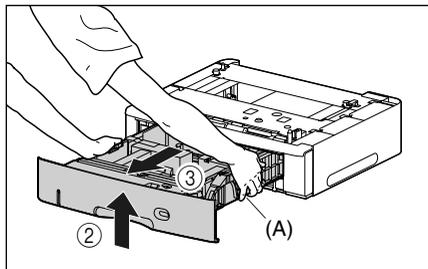
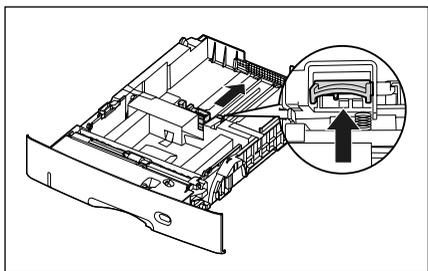
3 給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出し①、手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します②。

4 プリンタ本体を設置場所から移動します。

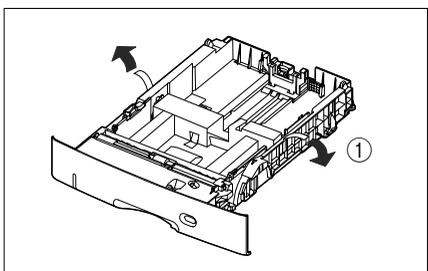
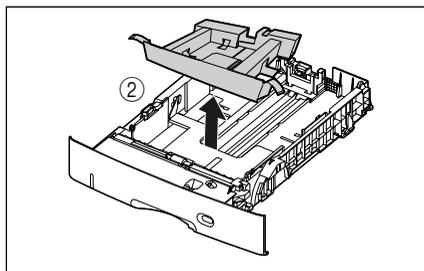
プリンタ本体下部にある運搬用取っ手の中央部に 2 人以上で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。

梱包材を取り外し、ペーパーフィーダを取り付ける

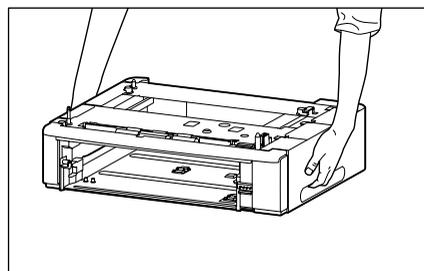
ペーパーフィーダは、プリンタ本体の底面に取り付けます。

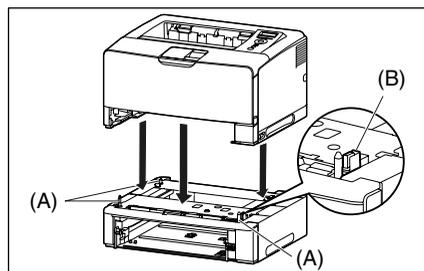
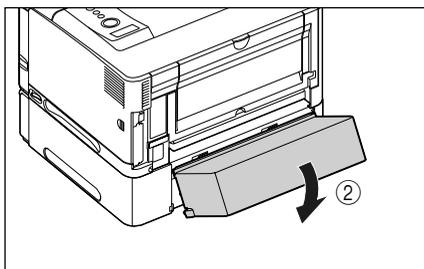
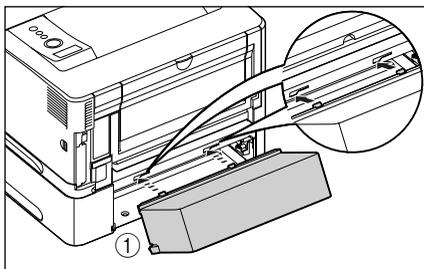
* 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 給紙カセットを止めているテープを取り外します。

2 ペーパーフィーダから、給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します①。

図のように取っ手（A）を両手で持って、給紙カセットの手前を少し持ち上げてから②、完全に引き出します③。

3 後端の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを移動します。

4 テープと梱包材を取り外します。

図の位置にあるテープを取り外します①。

テープ付き梱包材を取り外します②。

5 ペーパーフィーダを設置場所に置きます。

ペーパーフィーダを持ち運ぶときは、両手で左右の運搬用取っ手の中央部を持って運んでください。

6 プリンタ本体をペーパーフィーダの両側面や前面に合わせてゆっくりと載せます。

プリンタ本体を載せるときは、位置決めピン（A）やコネクタ（B）も合わせてください。

7 カセット保護カバーを取り付けます。

8 給紙カセットをプリンタ本体、ペーパーフィーダにセットします。

9 USB　ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

10 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

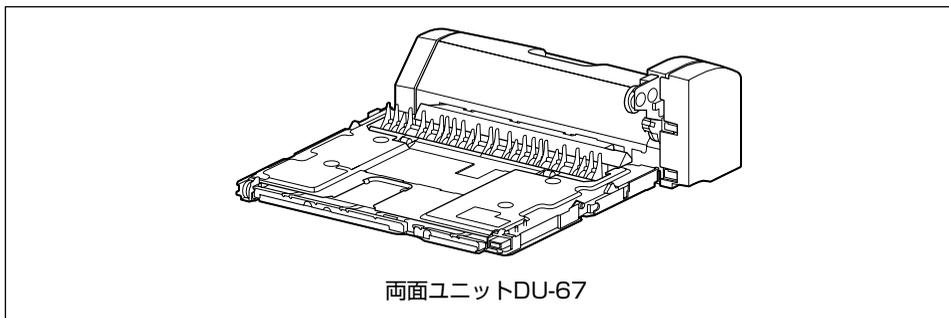
11 USB ケーブルを接続します。

Point

ペーパーフィーダの設置後、はじめて給紙カセットに用紙をセットするときは、必ずプリンタの電源を一度入れてから行ってください。

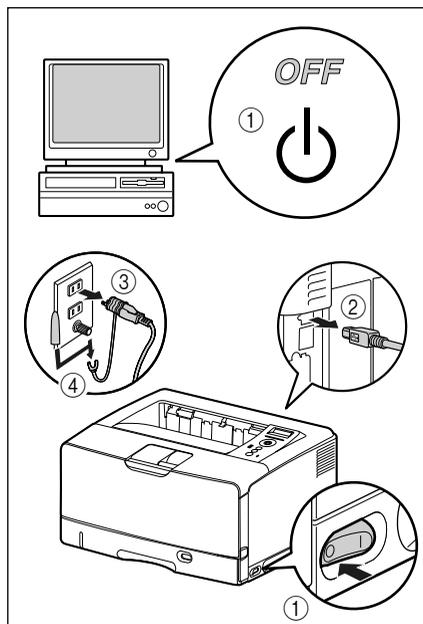
両面ユニット

両面ユニットは、プリンタ本体の背面に取り付けて使用します。

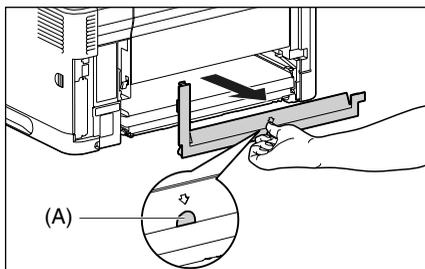
両面ユニットDU-67

両面ユニットを取り付ける

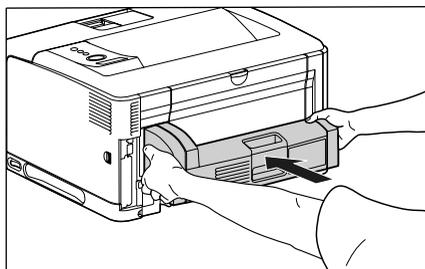
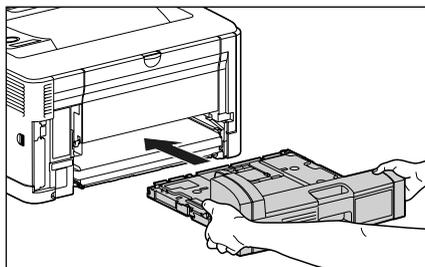
両面ユニットは、プリンタ本体の背面に取り付けます。

* 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 プリンタとコンピュータの電源をオフにし①、USB ケーブルを抜き②、電源プラグを電源コンセントから抜いて③、アース線を専用のアース線端子から取り外します④。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。

3 両面ユニットカバーを取り外します。

両面ユニットカバーは、取っ手（A）の部分に指をかけて取り外します。

4 両面ユニットを取り付けます。

図のように両面ユニットを水平にしっかりと奥まで押し込みます。

5 USB　ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

6 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

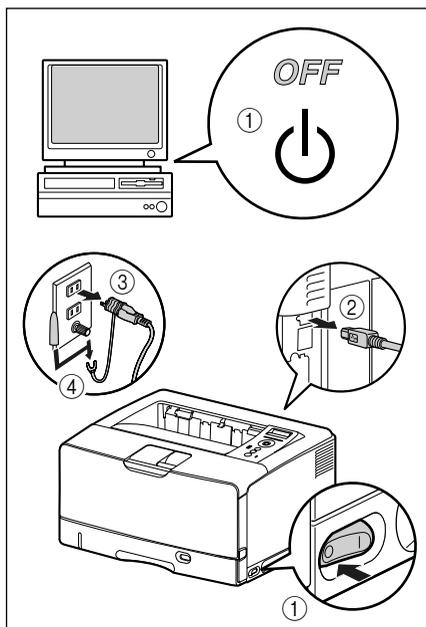
7 USB ケーブルを接続します。

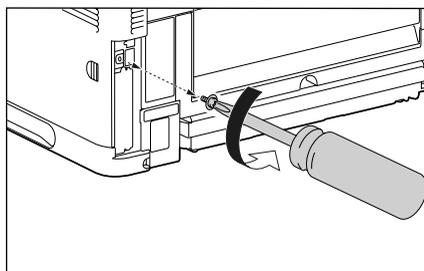
RAM/ROM

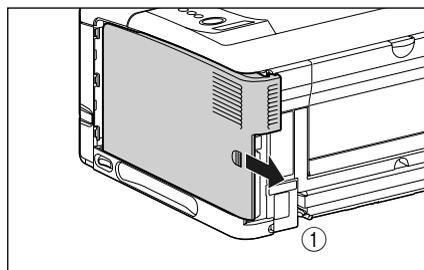
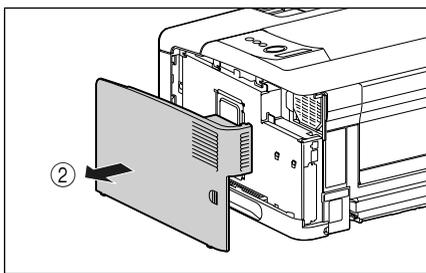
拡張 RAM、コントロール ROM は、プリンタ右側のメインボードに取り付けて使用します。取り付けたあと、必要に応じて RAM や ROM を設定します。

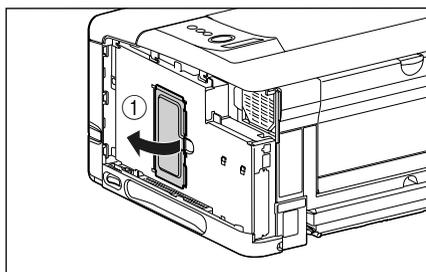
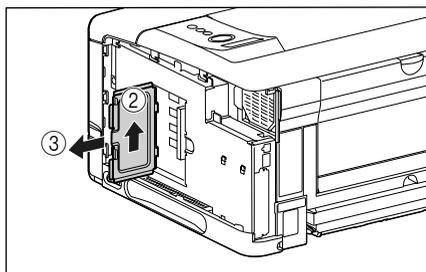
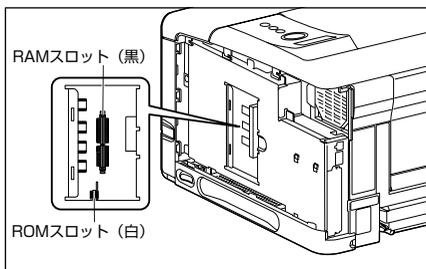
RAM/ROM を取り付ける

RAM と ROM は、次の手順でプリンタ本体のメインボードに取り付けます。取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

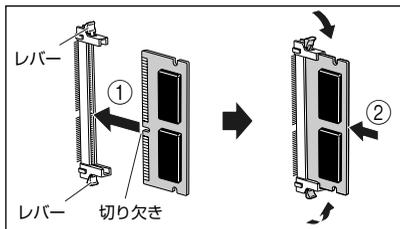
1 プリンタとコンピュータの電源をオフにし①、USB ケーブルを抜き②、電源プラグを電源コンセントから抜いて③、アース線を専用のアース線端子から取り外します④。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。

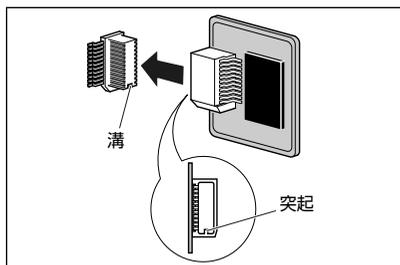
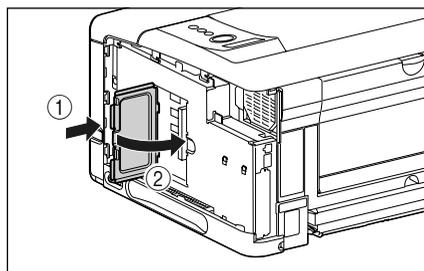
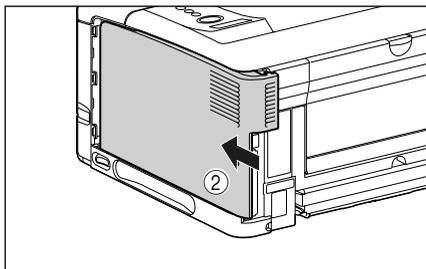
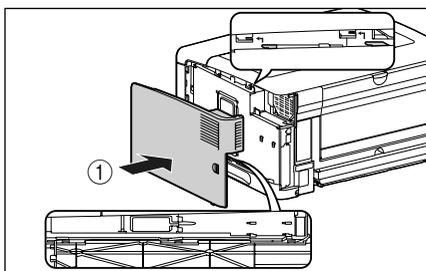
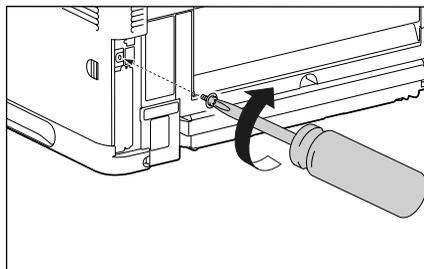
3 プリンタ背面のネジを取り外します。

4 右カバーを取り外します。

右カバーを矢印の方向にスライドさせます①。

右カバーを取り外します②。

5 スロットカバーを取り外します。

スロットカバーを開けます①。

スロットカバーを少し持ち上げて②、矢印の方向にスロットカバーを取り外します③。

RAM や ROM の取り付ける位置は以下のとおりです。取り付け位置を確認してから RAM や ROM を取り付けてください。

6 RAM や ROM を取り付けます。

● RAM を取り付ける場合

a 黒色のRAM スロットへ図のように切り欠きに合わせて差し込み①、奥までしっかりと押し込みます②。

● ROM を取り付ける場合

a ROM　の突起とコネクタの溝を合わせて、奥までしっかりと押し込みます。

7 スロットカバーを取り付けて①、閉めます②。

8 図のように右カバーを取り付けて①、スライドさせます②。

9 ネジを取り付けます。

10 USB　ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

11 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

12 USB ケーブルを接続します。

RAM/ROM の設定について

RAM や ROM を取り付けたあとは、必要に応じて次の設定を行ってください。

拡張 RAM　→　必要に応じてメニューの印字調整グループの設定を行ってください。

コントロール ROM　→　メニュー機能で設定します。

お役立ち情報

Chapter 5

お問い合わせ先について

プリンタドライバのバージョンアップやプリンタが故障したときなど、何らかのお問い合わせが必要になったときは、目的に応じて以下のお問い合わせ先にご連絡ください。

お買い上げいただいた販売店

- 消耗品やオプション品のご購入について
- 故障時の修理について

キヤノンホームページ

- プリンタドライバのバージョンアップ情報およびダウンロード
- トラブル発生時の解決方法
- 商品のご紹介や各種イベント情報など

http://canon.jp/

お客様相談センター

- 技術的なご質問や本プリンタの取り扱い方法について
- 消耗品やオプション品をご購入する際に不明な点がある場合
- 故障時の修理について不明な点がある場合

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90061

［受付時間］　＜平日＞ 9:00 ～ 20:00　＜土日祝日＞ 10:00 ～ 17:00
（1/1 ～ 3 は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9627 をご利用ください。
※IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

保守サービスのご案内

●ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはレーザビームプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザビームプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）

キヤノン保守契約制度のメリット

●都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。

万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

●保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

●簡単登録

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

●電話一本

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

●固定料金

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

キヤノンサービスパックの登録有効期間は、本体ご購入後 90 日以内となります。

補修用性能部品

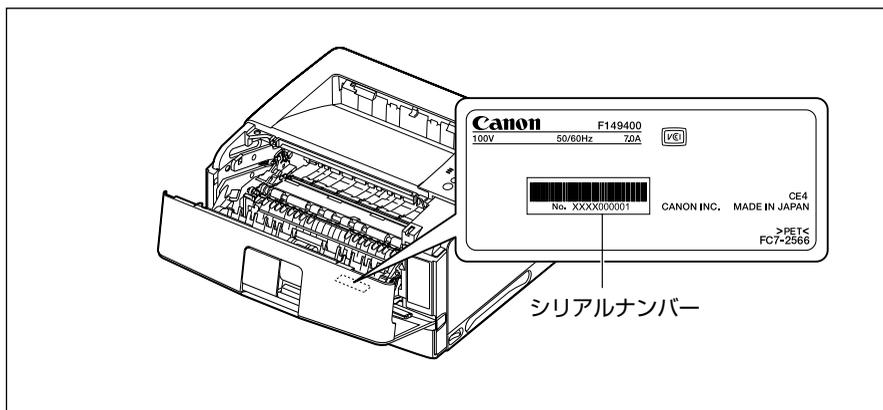
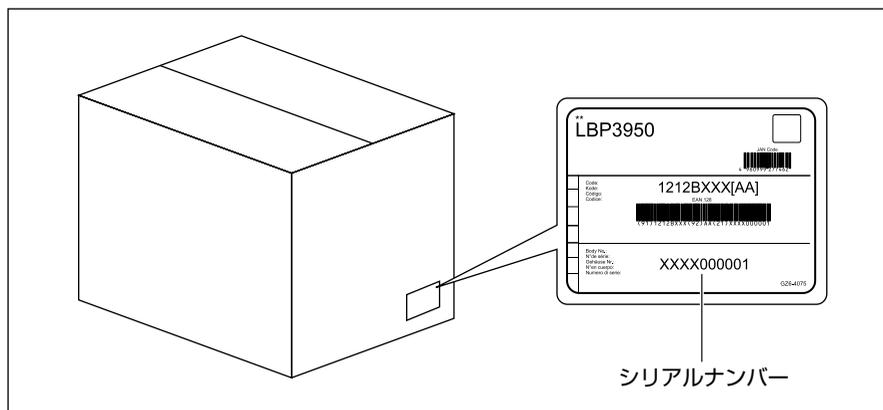
本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後 7 年間です。

無償保証について

- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置について

本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー (Serial No.) が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

●前カバー内側

●梱包箱外側

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

●キヤノンホームページ (http://canon.jp/)

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

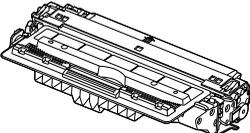
●キヤノンホームページ (http://canon.jp/)

キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

消耗品 / 定期交換部品の一覧

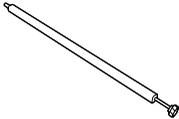
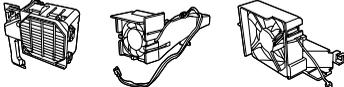
消耗品

本プリンタでは、消耗品として以下のものが用意されています。消耗品は、本プリンタをお買い求めの販売店などでお買い求めください。

消耗品は、以下の表の記載を目安に交換してください。ただし、プリンタの設置環境や印刷する用紙サイズにより、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

消耗品	交換の目安	用途
トナーカートリッジ	・同梱されているトナーカートリッジの場合 約6,000ページ ・交換用のトナーカートリッジ（Cartridge 509）の場合 約12,000ページ	印刷するデータを現像して転写するための部品です。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-28）

定期交換部品

本プリンタでは、定期交換部品として以下のものが用意されています。定期交換部品の交換は専門のサービスマンが行います。お客様での交換はできませんので、本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。サービスマンが定期交換部品を交換した場合には、部品代と技術料、訪問料金が別途必要となります。

定期交換部品は、以下の表の記載を目安に交換してください。ただし、プリンタの設置環境や印刷する用紙サイズにより、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

定期交換部品	交換の目安	用途
転写ローラ	200,000ページ（A4横片面）	トナーを用紙に転写させるためのローラです。
給紙ローラ（給紙カセット、手差しトレイ）	200,000ページ（A4横片面）	給紙カセット、手差しトレイから用紙を給紙するためのローラです。
ファンモータ（プリンタ、両面ユニット）	25,000時間	冷却用ファンのモータです。

設置場所について

本プリンタを安全かつ快適にご使用いただくために、「設置環境」に記載されている「温度／湿度条件」、「電源条件」、「設置条件」を満たした場所に設置してください。

設置環境

本プリンタの設置場所は、次の環境条件を考慮の上、お選びください。

温度／湿度条件

温度、湿度が次の範囲内の場所でご使用ください。

- 周囲温度：10 ～ 32.5 ℃
- 周囲湿度：20 ～ 80%RH（結露のないこと）

●超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をおすすめします。

電源条件

LBP3950 の最大消費電力は 1240W* 以下、LBP3900 の最大消費電力は 1256W* 以下です(AC100V ± 10%、50/60Hz ± 2Hz)。電気的なノイズや許容範囲を超える電源電圧の降下は、本プリンタだけでなく、パソコン本体の誤作動やデータ消失の原因になることがあります。

＊この値は起動時の瞬間的なピークを除いた値です。

電源を接続するときは、次の事項をお守りください。

- 必ず 15A 以上の電源コンセントに、プリンタの電源を接続してください。
- アース線を接続してください。

お使いの電源について不明な点があれば、ご契約の電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

設置条件

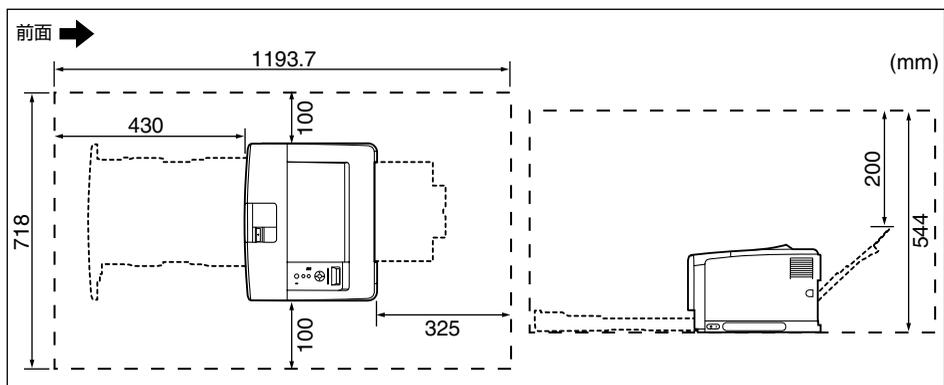
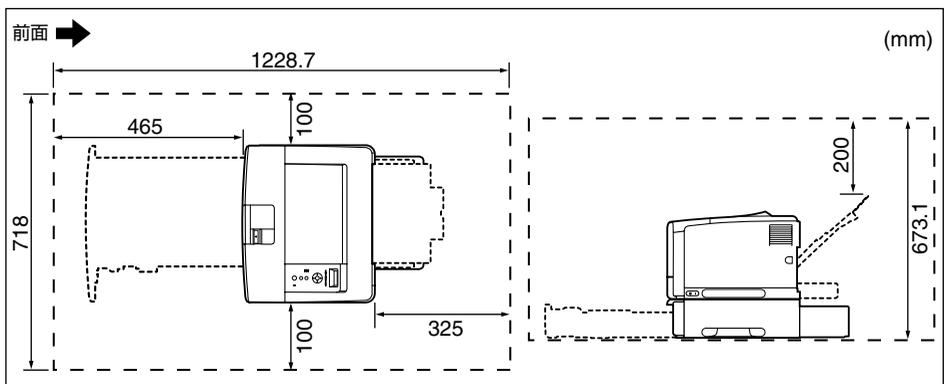
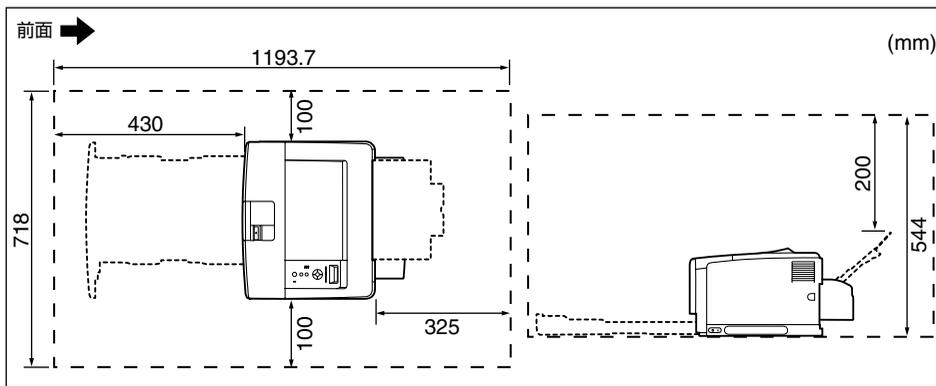
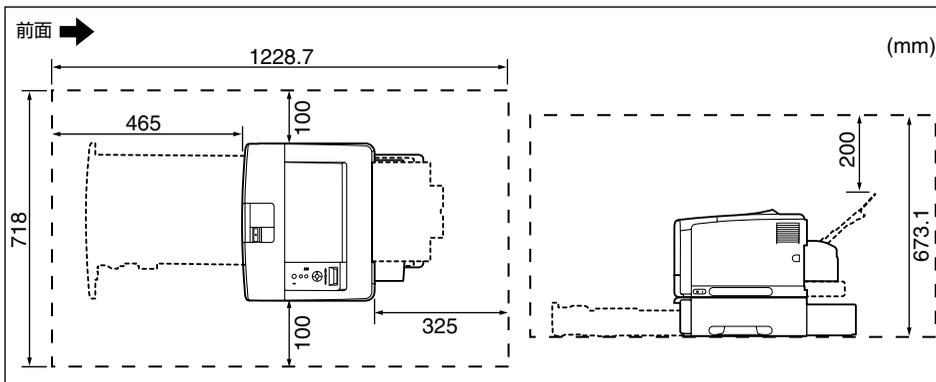
本プリンタは、次のような場所に設置してください。

- 十分なスペースが確保できる場所
- 風通しがよい場所
- 平坦で水平な場所
- 本プリンタおよびオプション品の質量に耐えられる十分な強度のある場所

設置スペース

本プリンタの周囲には、次のような空間を確保し、本プリンタの質量に耐えられる場所を選んで設置してください。周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。

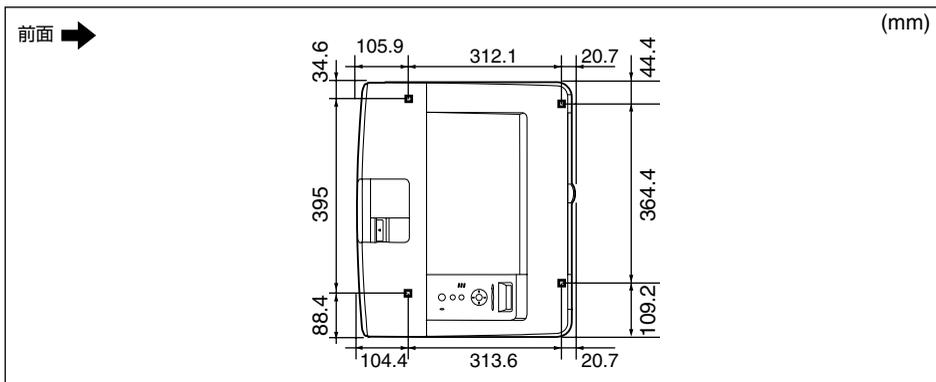
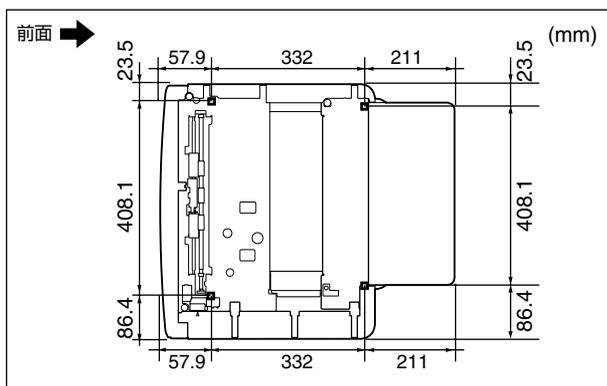
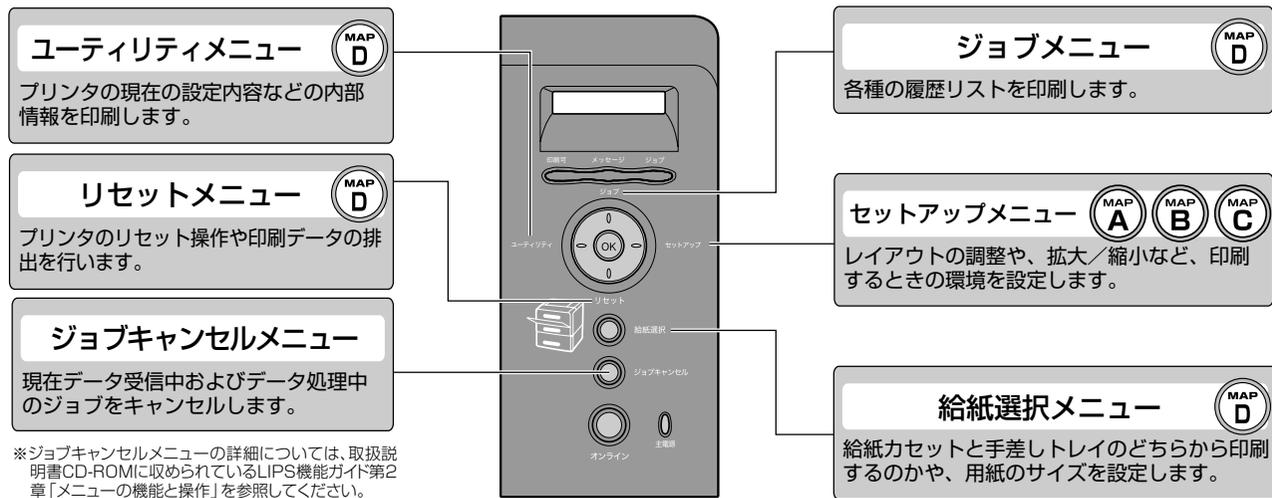
周囲に必要なスペース

●標準状態

●ペーパーフィーダ装着状態

●両面ユニット装着状態

●ペーパーフィーダ + 両面ユニット装着状態

足の位置

●プリンタ本体

●ペーパーフィーダユニット PF-67

メニュースタートアップ

※ジョブキャンセルメニューの詳細については、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイド第2章「メニューの機能と操作」を参照してください。

各メニューを表示したあとのメニュー項目（内容）については、該当する MAP A から MAP D を参照してください。

MAP A MAP B 共通セットアップメニューを表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜
▼
カクチョウ キノウ →

※共通セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。ただし、オンライン状態では、「ユーザメンテナンス」グループの設定はできません。

MAP C LIPS専用セットアップメニュー（LIPS4セットアップ、LIPS LXセットアップ）を表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜
▼
カクチョウ キノウ →

※LIPS専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

2.「LIPS4セットアップ」または「LIPS LXセットアップ」を表示します。
［◄］または［►］を押します。

LIPS4セットアップ゜ →

3. 下の階層へ進みます。
［OK］を押します。
LIPS専用セットアップメニューが表示されます。

カクダイ/シュクショウ →

MAP C ESC/P専用セットアップメニューを表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜
▼
カクチョウ キノウ →

※ESC/P専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

2.「ESC/P セットアップ」を表示します。
［◄］または［►］を押します。

ESC/P セットアップ゜ →

3. 下の階層へ進みます。
［OK］を押します。
ESC/P専用セットアップメニューが表示されます。

ページ゛レイアウト →

MAP C IMAGING専用セットアップメニューを表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜
▼
カクチョウ キノウ →

※IMAGING専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示するこができます。

3.「IMAGING セットアップ」を表示します。
［◄］または［►］を押します。

IMAGING セットアップ゜ →

4. 下の階層へ進みます。
［OK］を押します。
IMAGING専用セットアップメニューが表示されます。

カ゛ゾ゛ウノムキ →

MAP D 給紙選択メニューを表示する

1.［給紙選択］を押します。
給紙選択メニューが表示されます。

キュウシ センタク
▼
キュウシ モート゛ →

※給紙選択メニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

MAP D ジョブメニューを表示する

1.オンライン状態になっていることを確認します。
オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。

2.［ジョブ］を押します。
ジョブメニューが表示されます。

シ゛ョフ゛
▼
シ゛ョフ゛リレキリスト →

MAP D ユーティリティメニューを表示する

1.オンライン状態になっていることを確認します。
オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。

2.［ユーティリティ］を押します。
ユーティリティメニューが表示されます。

ユーティリティ
▼
ステータスプ゜リント →

MAP D リセットメニューを表示する

1.［ユーティリティ］を押します。
ユーティリティメニューが表示されます。

リセット
▼
ソフトリセット →

※リセットメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。ただし、プリンタにエラーが発生しているときは、「排出」をすることはできません。

メニュールートマップでは、本プリンタで設定できる各機能のメニューが一目で理解できるように記載してあります。
各メニューの設定項目や内容を知りたいときにご活用ください。
詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められている「LIPS機能ガイド」を参照してください。

メニュールートマップ

共通セットアップ編

上段から続く

レイアウト

- 自動選択 P.3-18
  - 手差しトレイ：使う／使わない
  - カセット1：使う／使わない
  - カセット2 *：使う／使わない
- デフォルト用紙タイプ P.3-18：普通紙／普通紙L／普通紙H／厚紙L／厚紙H／OHPフィルム／ハガキ／封筒／ラベル用紙
- 両面印刷 *P.3-19：しない／する
- コピー枚数 P.3-20：1／9999
- 縦位置補正 P.3-20：-50.0／0.0／50.0
- 横位置補正 P.3-20：-50.0／0.0／50.0
- とじ方向 P.3-21：長辺とじ／短辺とじ
- とじしろ P.3-22：-50.0／0.0／50.0
- 特殊両面処理 *P.3-24：する／しない

印字調整

- スーパースムーズ P.3-25：使う／使わない
- 階調処理 P.3-25：標準／高階調
- ドラフトモード P.3-25：使わない／使う
- トナー濃度 P.3-26：1／4／16
- 中間調選択 P.3-26
  - テキスト：高解像度／解像度／階調／色調
  - グラフィックス：階調／色調／高解像度／解像度
  - イメージ：色調／高解像度／解像度／階調
- 画質警告 P.3-27：継続／停止

MAP B

MAPBをご参照ください

ルートマップの見かた

拡張機能 ←キー操作

←「グループ」の階層をあらわしています。

スリープモード ←「設定項目」の階層をあらわしています。

P.3-9 ←取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドのページ数をあらわしています。

パネルオフ 使う 使わない ←「設定値」の階層をあらわしています。アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値をあらわしています。

- ルートマップ中の「▪▪▪▪」は、設定値を省略していることをあらわしています。
- 「＊」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドを参照してください。
- キー操作について
  メニュー項目の指定は、操作パネルの▲▼◀▶と［OK］の5つのキーを使って操作します。
  - ▲ 上の項目に戻る。
  - ▼ 下の項目に進む。または項目を決定する。［OK］でも同様の操作が行えます。
  - ◀ 左の項目を選択する。
  - ▶ 右の項目を選択する。

メニュールートマップ

共通セットアップ編

MAP A より

- **インタフェース**
  - インタフェース選択 P.3-28
    - USB：使う / 使わない
    - 標準ネットワーク：使う / 使わない
  - タイムアウト P.3-28：5秒 / 15秒 / 300秒 / しない
  - 標準ネットワーク *
    - TCP/IP設定 P.3-29
      - IPモード：手動 / 自動
      - プロトコル *
        - DHCP：オフ / オン
        - BOOTP：オフ / オン
        - RARP：オフ / オン
      - アドレス
        - IPアドレス：（数値入力）
        - サブネットマスク：（数値入力）
        - ゲートウェイアドレス：（数値入力）
      - DNS
        - プライマリアドレス：（数値入力）
        - セカンダリアドレス：（数値入力）
      - WINS：オフ / オン
      - ARP/PING：オン / オフ
      - FTP
        - FTP印刷：オン / オフ
        - FTP設定：オン / オフ
      - LPD印刷：オン / オフ
      - RAW印刷：オン / オフ
      - BMLinkS：使わない / 使う
      - IPP印刷：オン / オフ
      - HTTP：オン / オフ
      - SNTP：オフ / オン
      - 探索応答：オン / オフ
      - IPアドレス範囲設定
        - 受信／印刷拒否：しない / する
        - 拒否アドレス設定 *：拒否IPアドレス1 …… 拒否IPアドレス8
        - 受信／印刷許可：しない / する
        - 許可アドレス設定 *：許可IPアドレス1 …… 許可IPアドレス8
        - 設定／参照拒否：しない / する
        - 拒否アドレス設定 *：拒否IPアドレス1 …… 拒否IPアドレス8
        - 設定／参照許可：しない / する
        - 許可アドレス設定 *：許可IPアドレス1 …… 許可IPアドレス8
      - MACアドレス設定
        - 受信許可：しない / する
        - 許可アドレス設定 *：許可MACアドレス1 …… 許可MACアドレス50
  - AppleTalk *P.3-30：オフ / オン
  - SMB P.3-30
    - SMBサーバ：オン / オフ
  - SNMP P.3-30：オン / オフ
  - 起動待機時間 P.3-30：0秒 …… 300秒
  - リモートUI設定 P.3-31
    - リモートUI：オン / オフ

下段に続く

上段から続く

  - ETHERNETドライバ P.3-31
    - 自動検出：オン / オフ
    - 通信方式 *：半2重 / 全2重
    - ETHERNET種類 *：10BASE-T / 100BASE-TX
    - MACアドレス：（表示のみ）
  - ネットワーク設定初期化 P.3-31
  - コネクション認識 P.3-31：する / しない
  - 拡張受信バッファ *P.3-32：使わない / 使う
- **動作モード**
  - 動作モード選択 P.3-33：自動選択 / LIPS / N201 * / ESC/P / I5577 * / HP-GL * / HEX-DUMP / LIPS-DUMP
  - 自動切り替え P.3-36
    - LIPS：使う / 使わない
    - N201 *：使う / 使わない
    - ESC/P：使う / 使わない
    - I5577 *：使う / 使わない
    - HP-GL *：使う / 使わない
  - 優先エミュレーション P.3-36：なし / LIPS / N201 * / ESC/P / I5577 * / HP-GL *
- **ユーザメンテナンス**
  - 印字位置調整 P.3-37
    - 縦位置補正（トレイ）：-5.0 …… 0.0 …… 5.0
    - 横位置補正（トレイ）：-2.59 …… 0.52 …… 2.59
    - 縦位置補正（カセット1）：-5.0 …… 0.0 …… 5.0
    - 横位置補正（カセット1）：-2.59 …… 0.69 …… 2.59
    - 縦位置補正（カセット2）*：-5.0 …… 0.0 …… 5.0
    - 横位置補正（カセット2）*：-2.59 …… 0.69 …… 2.59
    - 縦位置補正（両面）*：-5.0 …… 0.0 …… 5.0
    - 横位置補正（両面）*：-2.59 …… -0.52 …… 2.59
  - リカバリ印刷 P.3-38：する / しない
  - 特殊モードJ P.3-38：使わない / 使う
  - 用紙サイズ置換 P.3-39：しない / する
  - うねり特殊処理 P.3-39：しない / する

MAP C
MAP Cをご参照ください

ルートマップの見かた

- 拡張機能 ←キー操作
- ←「グループ」の階層をあらわしています。
- スリープモード ←「設定項目」の階層をあらわしています。
- P.3-9 ←取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドのページ数をあらわしています。
- パネルオフ / 使う / 使わない ←「設定値」の階層をあらわしています。アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値をあらわしています。

●ルートマップ中の「▪▪▪▪」は、設定値を省略していることをあらわしています。

●「*」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドを参照してください。

●キー操作について
メニュー項目の指定は、操作パネルの▲▼◀▶と［OK］の5つのキーを使って操作します。
- ▲ 上の項目に戻る。
- ▼ 下の項目に進む。または項目を決定する。［OK］でも同様の操作が行えます。
- ◀ 左の項目を選択する。
- ▶ 右の項目を選択する。

メニュールートマップ

ESC/P・IMAGING・LIPS4・LIPS LX セットアップ編

MAP B
MAPBより

LIPS4セットアップ

- 拡大／縮小　P.4-4：しない／→A3／→B4／→A4／→B5／→A5／→ハガキ／→往復ハガキ／→4面ハガキ／→リーガル／→レター
- 複数ページ印刷　P.4-4：しない／2ページ（左）／2ページ（右）／4ページ（横・左）／4ページ（横・右）／4ページ（縦・左）／4ページ（縦・右）
- 複数ページ余白　P.4-6：パターン1／パターン2
- ページの向き　P.4-7：縦／横
- オーバレイ1　P.4-7：しない／0／32767
- オーバレイ2　P.4-7：しない／0／32767
- スタートアップマクロ　P.4-8：0／30／32767
- 漢字コード　P.4-9：JIS／シフトJIS／EUC／DEC
- 文字サイズ　P.4-10：10ポイント／12ポイント／8ポイント
- 漢字書体　P.4-10：明朝／ゴシック
- ANK書体　P.4-10：明朝／ゴシック／ラインプリンタ
- 漢字グラフィックセット　P.4-11：JIS90／JIS78
- 行数　P.4-11：6LPI／8LPI／10～99
- 桁数　P.4-11：自動／10CPI／12CPI／15CPI／10～200
- 自動改ページ　P.4-12：する／しない
- 自動改行　P.4-12：する／しない
- CR機能　P.4-12：CRのみ／CR＋LF
- LF機能　P.4-12：LFのみ／LF＋CR
- 網かけ解像度　P.4-13：クイック／ファイン
- ジョブタイムアウト　P.4-13：しない／する
- 白紙節約　P.4-13：する／しない

LIPS LXセットアップ

- 白紙節約　P.4-14：する／しない

下段に続く

上段から続く

ESC/Pセットアップ

下段に続く

ページレイアウト

- ページフォーマット　P.5-4：実寸縦／実寸横／10"→A4縦／15"→A4横／15"→B4横／B4→A4縦／B4→A4横
- 上余白　P.5-6：-127／0／127
- 用紙位置微調整　P.5-7：-127／0／127
- 領域　P.5-9：標準／ワイド
- 右マージン既定値　P.5-9：136桁／右端
- 用紙サイズ　P.5-9：A4／B5／A5／ハガキ／A3／B4
- 2ページ印刷設定　P.5-10：しない／左／右

フォント

- 漢字書体　P.5-11：明朝／ゴシック／ID
- フォントID　*P.5-11：1／2／999
- 漢字サイズ　P.5-11：システム／8ポイント／10ポイント／12ポイント
- 文字コード　P.5-12：カタカナ／グラフィックス
- 国別文字　P.5-12：日本／ノルウェー／デンマーク2／スペイン2／ラテンアメリカ／USA／フランス／ドイツ／UK／デンマーク／スウェーデン／イタリア／スペイン

印字機能

- イメージの補正　P.5-13：しない／する
- 縮小文字　P.5-13：しない／する

印字動作

- 改行機能　P.5-14：LFコマンドを待つ／改行

VFC

- 連続用紙長　P.5-15：システム／1行／199行
- 単票用紙長　P.5-16：システム／1行／199行
- ミシン目スキップ　P.5-16：しない／1行／31行

その他

- 登録レベル　P.5-17：一時／永久

上段から続く

IMAGINGセットアップ

- 画像の向き　P.6-3：自動／縦／横
- 拡大／縮小　P.6-3：しない／自動
- 印字位置　P.6-4：自動／中央／左上
- 警告表示　P.6-4：印刷／パネル／しない
- 印字領域拡大　P.6-4：しない／する

パネル設定初期化

ルートマップの見かた

- 拡張機能 ←キー操作
- ←「グループ」の階層をあらわしています。
- スリープモード ←「設定項目」の階層をあらわしています。
- P.3-9 ←取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドのページ数をあらわしています。
- パネルオフ／使う／使わない ←「設定値」の階層をあらわしています。アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値をあらわしています。

●ルートマップ中の「▪▪▪▪」は、設定値を省略していることをあらわしています。

●「*」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドを参照してください。

●キー操作について
メニュー項目の指定は、操作パネルの▲▼◀▶と［OK］の5つのキーを使って操作します。
- ▲ 上の項目に戻る。
- ▼ 下の項目に進む。または項目を決定する。［OK］でも同様の操作が行えます。
- ◀ 左の項目を選択する。
- ▶ 右の項目を選択する。

●「*」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドを参照してください。

●●● サテラ　ご購入者アンケートご協力のお願い ●●●

この度は、キヤノンサテラシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。みなさまのご意見を今後の製品開発の参考とさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。
本プリンタに付属の User Software CD-ROM と取扱説明書 CD-ROM のトップ画面に、キヤノンホームページのアンケートページへアクセスするボタンがあります。大変お手数ではございますが、そこからアクセス後、質問事項にご回答ください。ご回答いただきました内容はより良いサービスと今後の製品開発の貴重な資料として活用し、それ以外の目的に使用することはありません。

※ アンケートにご回答いただく際には、商品名称と本体機番を入力していただく必要があります。

例）

商品名称	本体機番
LBP3950	LRDA000001
LBP3900	LREA000001

（保証シートおよび前カバー内側、梱包箱外側に記載されています。）

どんなことで困ってますか？

ディスプレイにメッセージが表示されている

どんなことが知りたいですか？

操作方法が知りたい

本プリンタについて知りたい

FA7-9925 (000) XX2006XXXX

PRINTED IN JAPAN OR CHINA